

県営住宅吉成東団地第一期エコ改善工事 (59-1棟) (電気設備)

図面番号	図面名	縮尺
E-01	表紙・図面リスト	—
E-02	電気設備工事特記仕様書(1)	—
E-03	電気設備工事特記仕様書(2)	—
E-04	配置図・付近見取図・工事概要・概略工程表	S=1/300
E-05	幹線・電灯・動力設備 屋外・1階 平面図 (改修図)	S=1/100
E-06	幹線・電灯設備 2・3階 平面図 (改修図)	S=1/100
E-07	幹線・電灯設備 4階・屋上 平面図 (改修図)	S=1/100
E-08	テレビ共同受信設備 系統図 (改修図)	—
E-09	構内交換・テレビ共同受信設備 1・2階 平面図 (改修図)	S=1/100
E-10	構内交換・テレビ共同受信設備 3・4階 平面図 (改修図)	S=1/100
E-11	電灯分岐・コンセント分岐設備 1~4階 平面図(住戸内) ~2DK, 3DK~ (改修図)	S=1/50
E-12	幹線・光用空配管 外壁立面図 (改修図)	S=1/100
E-13	構内配電線路・幹線・電灯・動力設備 屋外・1階 平面図 (撤去図)	S=1/100 S=1/30
E-14	幹線・電灯・動力設備 2・3階 平面図 (撤去図)	S=1/100
E-15	幹線・電灯・動力設備 4階・屋上 平面図 (撤去図)	S=1/100
E-16	構内交換・テレビ共同受信設備 1・2階 平面図 (撤去図)	S=1/100
E-17	構内交換・テレビ共同受信設備 3・4階 平面図 (撤去図)	S=1/100
E-18	テレビ共同受信設備 屋上 平面図 (撤去図)	S=1/100
E-19	電灯分岐・コンセント分岐設備 1~3階 平面図(住戸内) ~2DK, 3DK~ (撤去図)	S=1/50
E-20	電灯分岐・コンセント分岐設備 4階 平面図(住戸内) ~2DK, 3DK~ (撤去図)	S=1/50

鳥取県
令和7年度
J2501267
東部建築住宅
事務所

県営住宅吉成東団地第一期エコ改善工事(59-1棟) (電気設備)

表紙・図面リスト

株式会社 樟設備設計事務所

〒680-0052 鳥取市殿治町14
二級建築士登録番号 第2810号 谷本 正敏

CHECKED BY

谷本

DRAWING BY

吉田

PROJECT NO

25-20

DATE

2026.03

SCALE

—

DRAWING NO

E-01

電気設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 鳥取市吉成

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	県営住宅吉成東団地59-1棟	RC	4F	841.84	(5) 項口	既存建物
2					() 項	
3					() 項	
					() 項	
					() 項	

3 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
●電灯設備	○							
●動力設備	○							
●電熱設備								
●雷保護設備								
●受変電設備	○							
●電力貯蔵設備								
●発電設備								
●構内情報通信網設備	○							
●構内交換設備	○							
●情報表示設備								
●映像・音響設備								
●拡声設備								
●誘導支援設備								
●テレビ共同受信設備	○							
●監視カメラ設備								
●駐車場管制設備								
●防犯・入室管理設備								
●火災報知設備	○							
●中央監視制御設備								
●医療関係設備								
●構内配電線路	○							
●構内通信線路	○							
●テレビ電波障害防除設備								
●機械設備工事								
●建築工事								

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

●の付いたものを適用する。

項目	特記事項
電灯設備	●電気方式 幹線 ● 単相3線式100/200V ● 直流2線式100V 分岐 ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 直流2線式100V ● 非常用照明器具 ● 誘導灯 光源 ● LED ● 蛍光灯 ● 白熱灯 ● 電源 ● 電池内蔵形 ● 電源別置形 ● 避難口 ● 階段通路 ● 廊下通路 ● 室内通路
動力設備	●電気方式 幹線 ● 三相3線式200V ● 単相2線式200V ● 単相3線式100/200V 分岐 ● 三相3線式200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V)
雷保護設備	●受雷部 ●避雷導線 ●接地極 ●突針 ● 棟上げ構体 ● その他金属体 () ● 建築構造体利用 ● 引下げ導線 ● 建築構造体利用 ● 接地極埋設
受変電設備	●電気方式 高圧 三相3線式 6.6kV 低圧 ● 三相3線式200V ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) 改修工事 既存設備 ● kW 新設工事 ● 100kW未満 ● 100kW以上500kW未満 ● 500kW以上 ● 屋内形 ● 屋外形 ● キュービクル式配電盤 (● PF形 ● CB-1形 ● CB-2形) ● 高圧スイッチギア、変圧器盤 (CB-3形) 変圧器 三相 300kVA、単相 300kVA ● 油入 ● モールド 増設変圧器 三相 100kVA ● 油入 ● モールド 主遮断器 ● 限流ヒューズ ● VCB

項目	特記事項
電力貯蔵設備	●直流電源装置 用途 ● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ● 受変電設備制御電源専用 ● 非常用照明器具電源専用 蓄電池 ● HS形鉛蓄電池 ● MSE形鉛蓄電池 (Ah) 形式 ● 標仕によるUPS ● 簡易形UPS 用途 ● 電算機用
発電設備	●自家発電装置 電気方式 三相3線式 ● 6.6kV ● 210V 機器類 形式 ● キュービクル形 ● 簡易形 ● オープン形 発電機 (kVA以上) 原動機 ● ディーゼル ● ガスタービン 防油堤 ● コンクリート製 ● 鉄板製 (● 本工事 ● 別途工事) モジュール ● 結晶シリコン ● 薄膜 ● ● 風力発電装置 風車 ● プロペラ形 ●
通信情報設備	●機器 ● 配管のみ ● 配管及び配線 ●交換機 ● 局線中継台 ● 電話機 ● ボタン電話装置 ● 配管のみ ● 配管及び配線 ●マルチサイン装置 ● 出退表示装置 ● 時刻表示装置 ●増幅器 ● スピーカー ● プロジェクタ ● スクリーン ● その他 () 用途 ● 一般放送 ● 非常放送 ● 個別放送 ●音声誘導装置 ● 身体障害者用インターホン装置 ● トイレ等呼出し装置 ●インターホン ● テレビインターホン ● ナースコール ●アンテナ (● UHF ● BS ● CS) ● CATV ●カメラ ● ビデオモニター ● タイムラプスVTR ● 配管のみ ● 配管及び配線 車両検知方式 ● 光線式 ● ループコイル式 機器 (● 本工事 ※ 別途工事) 配管 (※ 本工事 ● 別途工事) 配線 (● 本工事 ※ 別途工事) ●受信機 (● P型 ● R型) ● 副受信機 ● 中継器 ● 住宅用感知器 ● ●自動閉鎖設備 ● 感知器 (● 共用 ● 専用) ●非常警報設備 ● 複合装置 ● 一体形 (※ 一般型 ● 防雨型) ● 単独 ●ガス漏れ火災警報設備 受信機 (回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体 ● LPガス用 ● 都市ガス用)
中央監視設備	●形式 ●監視制御対象設備 ●伝送方式 ●警報盤 ● 表示操作盤 ● 監視制御装置 ●動力設備 ● 受変電設備 ● 自家発電設備 ● 防災設備 ● 照明制御 ● 給排水設備 ● 空調設備 ●アナログ方式 ● デジタル方式
構内配電線路	●電気方式 三相3線式 (● 6.6kV ● 200V) ● 単相3線式100/200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 施工方法 ● 地中埋設式(既設管路) ● 架空線式 ● 外灯点滅方式 ● 手動 ● 自動 (● タイマー ● 自動点滅器 ● 中央監視)
構内線通路	●用途 ● 電話用 ● 時計拡声用 ● 火災報知用 ● インターホン用 ● 情報通信網用 ● CATV ● 施工方法 ● 地中埋設式 ● 架空線式
テレビ設備	●対策方針 ●責任分界点 ●都市形CATVへの加入 ● 共同受信方式 (● 共同アンテナ ● 館内用アンテナ用) ●各戸の保安器一次側 ●

II. 特記仕様

1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書のうち●印の付いたものによる。
●公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準仕様書」という。)
●公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「改修標準仕様書」という。)
●公共建築設備工事標準準拠(電気設備工事編)(令和4年版)(以下、「標準準拠」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は●の付いたものを適用する。
●の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。●と◎の付いた場合は共に適用する。
- 一般共通事項のうち(1, 2, 4, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 15, 35)項は、● 建築 ● 機械設備 工事特記仕様書による。

項目	特記事項
①官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
②電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事業用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。 なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。 引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う (● PCB使用機器 ● アスベスト含有設備資材材 (● 配線用遮断機 ●) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り
③電気工事士	
④工事安全計画書等	
⑤発生材の分析及び処理	

項目	内容																																																																
⑥機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。 また、製造者等が定められている機材については、Ⅲ 機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。 なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 使用する機材がⅢ 機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。 提出した施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを出す。 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部数</th><th>電子データの提出</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工程毎</td><td>※1部 ● 部</td><td>● 要 ● 不要</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督職員の指示による</td><td>※2部 ● 部</td><td>● 要 ● 不要</td></tr></tbody></table>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出	工事写真	カラーサービス判	各工程毎	※1部 ● 部	● 要 ● 不要	完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部 ● 部	● 要 ● 不要																																																	
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出																																																													
工事写真	カラーサービス判	各工程毎	※1部 ● 部	● 要 ● 不要																																																													
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部 ● 部	● 要 ● 不要																																																													
⑦機材の品質・性能証明																																																																	
⑧施工図等																																																																	
⑨完成写真等																																																																	
⑩完成図等	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>名称</th><th>部数</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ 完成図原因</td><td>完成図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ</td><td>1部</td></tr><tr><td>※ 完成図 2つ折製本</td><td>※ 完成図 (縮小版) ● 施工図</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 完成図書</td><td>● 完成図 (縮小版) ※ A4版市販ファイル ● 主要機器図 ● A4版黒表紙製本 ● 試験成績書</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 保守用説明書</td><td>※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 保証書</td><td></td><td>1部</td></tr><tr><td>※ 官公署届出書類</td><td></td><td>1部</td></tr></tbody></table> ● 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。	区分	名称	部数	※ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1部	※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図 (縮小版) ● 施工図	※ 2部 ● 部	※ 完成図書	● 完成図 (縮小版) ※ A4版市販ファイル ● 主要機器図 ● A4版黒表紙製本 ● 試験成績書	※ 2部 ● 部	※ 保守用説明書	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部	※ 保証書		1部	※ 官公署届出書類		1部																																											
区分	名称	部数																																																															
※ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ 施工図 ● 原紙 ● CADデータ ● PDFデータ	1部																																																															
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図 (縮小版) ● 施工図	※ 2部 ● 部																																																															
※ 完成図書	● 完成図 (縮小版) ※ A4版市販ファイル ● 主要機器図 ● A4版黒表紙製本 ● 試験成績書	※ 2部 ● 部																																																															
※ 保守用説明書	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部																																																															
※ 保証書		1部																																																															
※ 官公署届出書類		1部																																																															
⑪他工事との取合い	<table border="1"><thead><tr><th>他工事との取合い</th><th>電気設備</th><th>機械設備</th><th>建築</th></tr></thead><tbody><tr><td>●コンクリート壁、梁、床貫通部</td><td>補強 ● ● ● ※</td><td>スリーブ・箱入 ※ ● ●</td><td>● ● ●</td></tr><tr><td>●鉄骨造の開口及び補強</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ●</td></tr><tr><td>●照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)</td><td>※ ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ●</td></tr><tr><td>●軽量鉄骨壁のボックス取付用下地</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ●</td></tr><tr><td>●埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強</td><td>仮枠 ● ● ● ●</td><td>補強 ● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td></tr><tr><td>●OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td></tr><tr><td>●埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材</td><td>切り込み ● ● ● ●</td><td>補強 ● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td></tr><tr><td>●自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td></tr><tr><td>●電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td></tr><tr><td>●機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td></tr><tr><td>●機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td></tr><tr><td>●テレビアンテナ</td><td>基礎 ● ● ● ●</td><td>アンカーボルト ※ ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td></tr><tr><td>●天井点検口</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td></tr><tr><td>●自立型制御盤の基礎</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td></tr><tr><td>●機器類のコンクリート基礎</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td><td>● ● ● ●</td></tr></tbody></table>	他工事との取合い	電気設備	機械設備	建築	●コンクリート壁、梁、床貫通部	補強 ● ● ● ※	スリーブ・箱入 ※ ● ●	● ● ●	●鉄骨造の開口及び補強	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ●	●照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)	※ ● ● ●	● ● ● ●	● ● ●	●軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ●	●埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠 ● ● ● ●	補強 ● ● ● ●	● ● ● ●	●OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	●埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切り込み ● ● ● ●	補強 ● ● ● ●	● ● ● ●	●自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	●電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	●機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	●機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	●テレビアンテナ	基礎 ● ● ● ●	アンカーボルト ※ ● ● ●	● ● ● ●	●天井点検口	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	●自立型制御盤の基礎	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●	●機器類のコンクリート基礎	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●
他工事との取合い	電気設備	機械設備	建築																																																														
●コンクリート壁、梁、床貫通部	補強 ● ● ● ※	スリーブ・箱入 ※ ● ●	● ● ●																																																														
●鉄骨造の開口及び補強	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ●																																																														
●照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)	※ ● ● ●	● ● ● ●	● ● ●																																																														
●軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ●																																																														
●埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠 ● ● ● ●	補強 ● ● ● ●	● ● ● ●																																																														
●OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●																																																														
●埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切り込み ● ● ● ●	補強 ● ● ● ●	● ● ● ●																																																														
●自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●																																																														
●電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(蓋を含む)	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●																																																														
●機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●																																																														
●機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●																																																														
●テレビアンテナ	基礎 ● ● ● ●	アンカーボルト ※ ● ● ●	● ● ● ●																																																														
●天井点検口	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●																																																														
●自立型制御盤の基礎	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●																																																														
●機器類のコンクリート基礎	● ● ● ●	● ● ● ●	● ● ● ●																																																														
⑫工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。 設ける。(寸法等は下図による。建築工事、機械設備工事等と一緒に表示する) ※ 工事表示板 ● お願い表示板																																																																
⑬表示板	<table border="1"><thead><tr><th>900</th><th>1,200</th></tr></thead><tbody><tr><td><table border="1"><thead><tr><th>建築工事中</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 電話 ○○-○○○○ 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 連絡先 電話 ○○-○○○○</td></tr></tbody></table></td><td><table border="1"><thead><tr><th>御通行中の皆様へ</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和○○年○月工事完成予定 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 連絡先 TEL ○○-○○○○</td></tr></tbody></table></td></tr></tbody></table>	900	1,200	<table border="1"><thead><tr><th>建築工事中</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 電話 ○○-○○○○ 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 連絡先 電話 ○○-○○○○</td></tr></tbody></table>	建築工事中	工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 電話 ○○-○○○○ 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 連絡先 電話 ○○-○○○○	<table border="1"><thead><tr><th>御通行中の皆様へ</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和○○年○月工事完成予定 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 連絡先 TEL ○○-○○○○</td></tr></tbody></table>	御通行中の皆様へ	令和○○年○月工事完成予定 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 連絡先 TEL ○○-○○○○																																																								
900	1,200																																																																
<table border="1"><thead><tr><th>建築工事中</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 電話 ○○-○○○○ 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 連絡先 電話 ○○-○○○○</td></tr></tbody></table>	建築工事中	工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 電話 ○○-○○○○ 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 連絡先 電話 ○○-○○○○	<table border="1"><thead><tr><th>御通行中の皆様へ</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和○○年○月工事完成予定 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 連絡先 TEL ○○-○○○○</td></tr></tbody></table>	御通行中の皆様へ	令和○○年○月工事完成予定 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 連絡先 TEL ○○-○○○○																																																												
建築工事中																																																																	
工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 電話 ○○-○○○○ 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 連絡先 電話 ○○-○○○○																																																																	
御通行中の皆様へ																																																																	
令和○○年○月工事完成予定 工事名 ○○○○○○新築工事 構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建 延べ面積○○○○㎡ 工事期間 令和○年○月から○年○月まで 設計者 ○○○○○○設計 監理者 ○○環境建築局建築住宅課 ○○○○○設計 施工者 ○○○○○○建設 連絡先 TEL ○○-○○○○ 鳥取県○○総合事務所環境建築局 建築住宅課 連絡先 TEL ○○-○○○○																																																																	
14 足場																																																																	

- ⑮ 工 事 用 仮 設 物
- ⑯ 土 工 事
- ⑰ 電 線 類
- ⑱ 電 線 本 数 ・ 管 路 等
- ⑲ 屋 外 露 出 配 管 の 仕 上 げ
- 20 露 出 配 管 の 塗 装 (付 属 品 含 む)
- ⑳ 波 付 硬 質 合 成 樹 脂 管 (FEP)
- ㉑ フラッシュプレートの材質
- ㉒ カバプレート の 表 示
- ㉓ プルボックス の 塗 装
- ㉔ 耐 震 施 工

構内につくることが ※ できる ● できない

埋 め 戻 し 土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類 () ● 真砂土 ()

建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積

本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。

EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。

通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。

盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。

ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

屋外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ[めっき付容量 300g/m以上]とする。

塗装する部分 ● 屋上 ● 屋側 ● 屋外 ● 廊下 ● 機械室 ● 居室 () ●

波付硬質合成樹脂管(FEP)を使用する場合は不燃又は難燃性とする。

● 金属製(ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製

シール等を貼付し、用途を表示する。

ステンレス製プルボックスの塗装 ※ 無(素地仕上) ● 有(指定色仕上)

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

1) 機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平地震度を乗じたものとする。

設置場所	機器種別	● 特定の施設		● 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上 層 階 屋 上 及 び 塔 屋	機 器	2.0	1.5	1.0	1.0
	防振支持の機器		2.0	1.5	1.5
	水 槽 類		1.5	1.0	1.0
中 間 階	機 器	1.5	1.0	0.6	0.6
	防振支持の機器		1.5	1.0	1.0
	水 槽 類		1.0	0.6	0.6
地 下 及 び 1 階	機 器	1.0	0.6	0.4	0.4
	防振支持の機器		1.0	0.6	0.6
	水 槽 類		1.5	1.0	0.6

上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層3階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階
中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
水槽類には燃料小出槽を含む

重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ●)

2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。

接地極の材料は次による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接 地 極
● 共 同 接 地	E _A E _D	10Ω以下	EB×3連-2組
● 共 同 接 地	E _A E _C E _D	10Ω以下	EB×3連-2組
● A 種	E _A	10Ω以下	EB×3連-2組
● B 種	E _B	Ω以下	EB×2連-2組
● C 種	E _C	10Ω以下	EB×3連-2組
● D 種	E _D	100Ω以下	EB×1
● 高 圧 避 雷 器	E _{LH}	10Ω以下	EB×3連-2組
● 交 換 機 用	E _t	Ω以下	EB×3連-1組
● 通 信 用	E _{At}	10Ω以下	EB×3連-2組
● 通 信 用	E _{Dt} 及びE _{Da}	100Ω以下	EB×1
● 電 話 引 込 口 の 保 安 器 用	E _{Lt}	100Ω以下	EB×1
● 測 定 用	E _o	-	EB×1

(連結の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)
(E_a, E_b, E_c, E_d, E_o, E_l, E_tの場合、EBはD=10 L=1000 または W=30 L=900 以上とする)
(その他単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)

ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。

外気面に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。

公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。

処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕 様 等	処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。

※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。

- 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。
分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
- アスベスト粉じん濃度測定を行う。
(測定時期： 測定場所： 測定点：)
- 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。
- 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
対象箇所()

- ㉑ 補 修 な ど
 - ㉒ は つ り
 - ㉓ は つ り 工 事 における非破壊検査
 - ㉔ あと施工アンカー
- 1) 施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う
- 試験方法 引張試験機による引張試験
確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上
試験箇所数 1施工単位に対し1本以上
対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置
- 34 室内空気中の化学物質の濃度測定
㉕ 火 災 保 険 等
- 36 鳥取県公共事業環境配慮指針
37 建 築 物 省 エ ネ 法

- ① 照 明 器 具
 - 2 一 般 照 明 の 照 度 測 定
 - ③ 非 常 用 照 明 の 照 度 測 定
 - 4 照 明 制 御 の 照 度 測 定 等
- 1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色)
- 測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)
※ 設置した各部屋2箇所以上 (● 設置装置及びその上下隣場
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定時期 100%点灯時(※ 夜間 ● 昼間)
調光制御点灯時(※ 夜間 ※ 昼間)

- ① 機 器 へ の 接 続
 - 1 大 地 抵 抗 率 の 測 定
 - 2 外 部 雷 保 護 設 備 接 地 シ ス テ ム
 - 1 変 圧 器 移 動 車 輪
 - 2 デ マ ン ド 監 視 装 置
 - 3 盤 内 照 明
 - 1 交 流 無 停 電 電 源 装 置 (UPS)
- ※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事
- 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。
● 構造体利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極
- 75kVA以上に取付。
● 本工事 ● 別途工事
前・後に設置する。
- 停電補償時間(分)
方式(● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式)

- 1 自 家 発 電 装 置
 - ディーゼル発電装置
 - ガスエンジン発電装置
 - ガスタービン発電装置
 - 熱 併 給 発 電 装 置
 - 燃料電池発電装置
 - 2 太 陽 光 発 電 装 置
 - 3 風 力 発 電 装 置
- 運転時間(h) 系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)
出力(kW) 配電盤外箱(● 有 ● 無)
保安装置(重故障項目特記 ● 有 ● 無) 外部用端子(● 要 ● 不要)
減圧水槽及び初期注水槽の材質(● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製)
オイルタンク(● 地下 ● 屋内)
据付：機械設備工事標準図(● 施工30、32(タンク室無し) ● 施工31、33(タンク室有り))
燃料小出槽(注)：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。
材質(● 鋼板製 ● ステンレス製)
燃料油等(● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス())
排気系統配管断熱材の厚さ(mm) ばい煙測定口(● 設ける ● 設けない)
排気ガスに含まれる窒素酸化物(以下) 運転音(dB以下)
系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)
公称最大出力(kW) 耐風速(m/s)
パワーコンディショナ(相 線 式 V) 定格容量(kW)
自立運転機能(● 有 ● 無)
表示装置(● 有 ● 無) 方式(※ 液晶 ●)
系統連系(● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力(kW)

- 1 交 換 装 置
 - 2 保 安 器 用 接 地
 - 3 壁 付 電 話 機 と の 接 続
 - 4 回 線 数
 - 5 電 話 機
 - 6 電 話 機 へ の 配 線
 - 8 情 報 表 示 設 備
 - 9 映 像 音 響 設 備
- 局線応答方式(● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式)
- 停電補償時間(分)
※ 本工事 ● 別途工事
※ モジュラージャック ● 電話用プレート
- 内線 / / 回線 局線 / / 回線(現用/実装/容量)
- 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台
● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台
- 卓上電話機1台につき次のものを見込む。
● ボタン電話機(● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)
● 内線電話機(● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●)
● 多機能電話機(● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)
● IP電話機(● EM-UTP 0.5-4P ●) (※ 15m ●)

- 1 マ ル チ サ イ ン 装 置
 - 2 出 退 表 示 装 置
 - 3 時 刻 表 示 装 置
 - 1 プ ロ ジ ェ ク タ
- イメージスキャナ(● 設ける ● 設けない)
制御装置(● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形)
呼出機能(● 有 ● 無) 方式(● 発光ダイオード ● 液晶 ●)
親時計(● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線)
太陽電池式屋外時計(点灯時間 h 点灯保証日数 日)
- 光出力(● I形 ● II形 ● III形) 解像度(● A形 ● B形 ● C形)
コントラスト比(● X形 ● Y形)

- 10 声 備
 - 11 選 擇
 - 12 火 災 報 知 設 備
 - 13 構 内 配 電 線 路
 - 14 構 内 通 信 線 路
 - 15 テ レ ビ 電 波 受 信 障 害 調 査
- 1 増 幅 器 形式(● 卓上形 ● ラック形) 定格出力(W) 性能(● Hi形 ● Lo形)
● 増幅器の入出力配線と外部配管(壁ボックス等)の接続はコネクタによる。
- 1 音 声 誘 導 装 置 検出方式(● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式)
- 1 自 動 火 災 報 知 設 備 受信機(● 型 級 回線(番積型) ● 複合形 ● 単独形)
2 自 動 閉 鎖 設 備 ● 防火戸用(※ ラッチ式 ● 電磁式)
● 防煙ダンパー用(※ 電動復帰 ● 手動復帰)
● 防火シャッター用(※ 別途工事 ● 本工事)
3 ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備 検知器(● 天井取付形 ● 壁取付形)
- ① 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。
● GL-600以上(● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ●)
2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み(鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。
3 高 圧 負 荷 開 閉 器 ● 閉鎖形(● 軽耐塩形 ● 重耐塩形) ● 地絡継電器付(※ 方向性 ● 無方向性)
● 避雷器内蔵
※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。
4 高 圧 ケ ー ブ ル の 端 末 部 高圧ケーブルの高端部にシースの縮み対策(熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等)を行う。
5 高 圧 ケ ー ブ ル の 屋 外 端 末 処 理 ● 一般形 ● 耐塩形
6 標 識 シ ー ト ※ 高圧 ● 低圧
7 照 明 用 ポ ー ル 照明用ポールには配線用遮断器(トリップ機能なし)又はカットアウトスイッチ(素通しヒューズ)を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。
- ① 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。
● GL-600以上(●)
2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み(鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入)とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。
3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●
- 1 調 査 仕 様 図面に記載されていない事項は、すべて(一社)日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領(地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。
2 テレ ビ 電 波 受 信 障 害 調 査 時 期 ※ 事前 ● 中間 ※ 事後
3 受 信 す る 受 信 波 及 び 地 点 数 中継局 波： 地点
中継局 波： 地点
4 報 告 書 提 出 部 数 ※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部

① 機 器 取 付 高

機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

名 称	測 点	取 付 高 (mm)	名 称	測 点	取 付 高 (mm)
電 力 共 通	取引用計器	地上~窓中心	表示盤	床上~中心	天井高×0.9
	引込開閉器	地上~中心	壁付発信器	"	1,300
			ベル、ブザー、チャイム	"	2,300
電 灯	分電盤・OA盤・実験盤	床上~中心	受付押ボタン(一般)	"	1,300
	スイッチ	"	電源箱	床上~下端	300
	"(多機能トイレ)	"			
	コンセント(一般)	"			
	"(和室)	"			
	"(台上)	台上~中心			
	"(土間)	床上~中心			
	"(車椅子用)	"			
	ブラケット(一般)	"			
	"(踊場)	"			
"(鏡上)	鏡上端~中心				
動 力	壁掛形制御盤	床上~中心	機器収納箱	天井下~上端	200
	手元開閉器	"	テレビ端子	床上~中心	300
	操作スイッチ	"	"(和室)	"	150
構 内 交 換	端子壁	床上~下端			
	保安器箱	天井下~上端			
	壁付アウトレット	床上~中心			
	"(和室)	"			
電 気 時 計	壁掛形親時計	床上~中心			
	子時計	"			
拡 声	壁掛形スピーカ	床上~中心			
	壁付アツテネータ	"			

2 工 事 の た め に 送 電 線 及 び 配 電 線 の 近 く で 作 業 す る と き は 、 事 前 に 中 国 電 力 に 連 絡 し 、 事 故 防 止 に 努 め る も の と す る 。

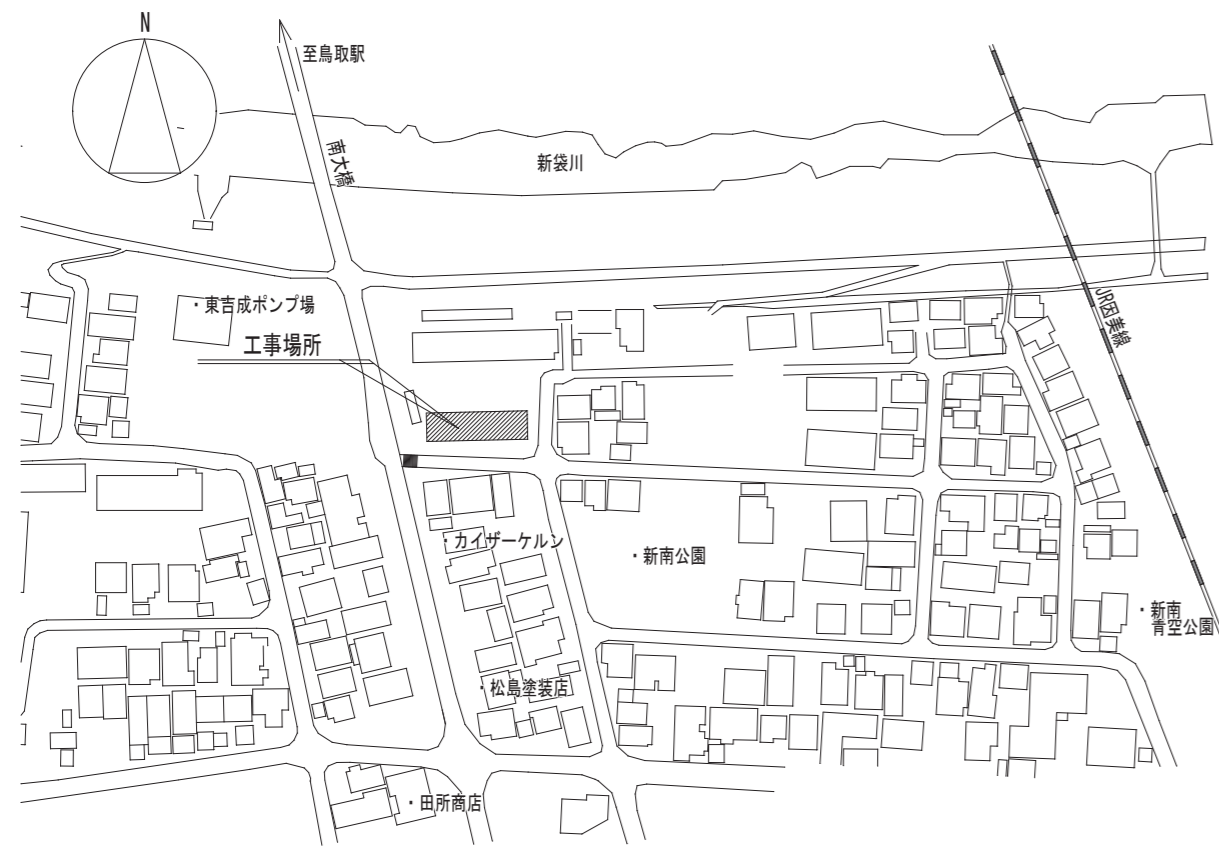
Ⅲ. 機 材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。

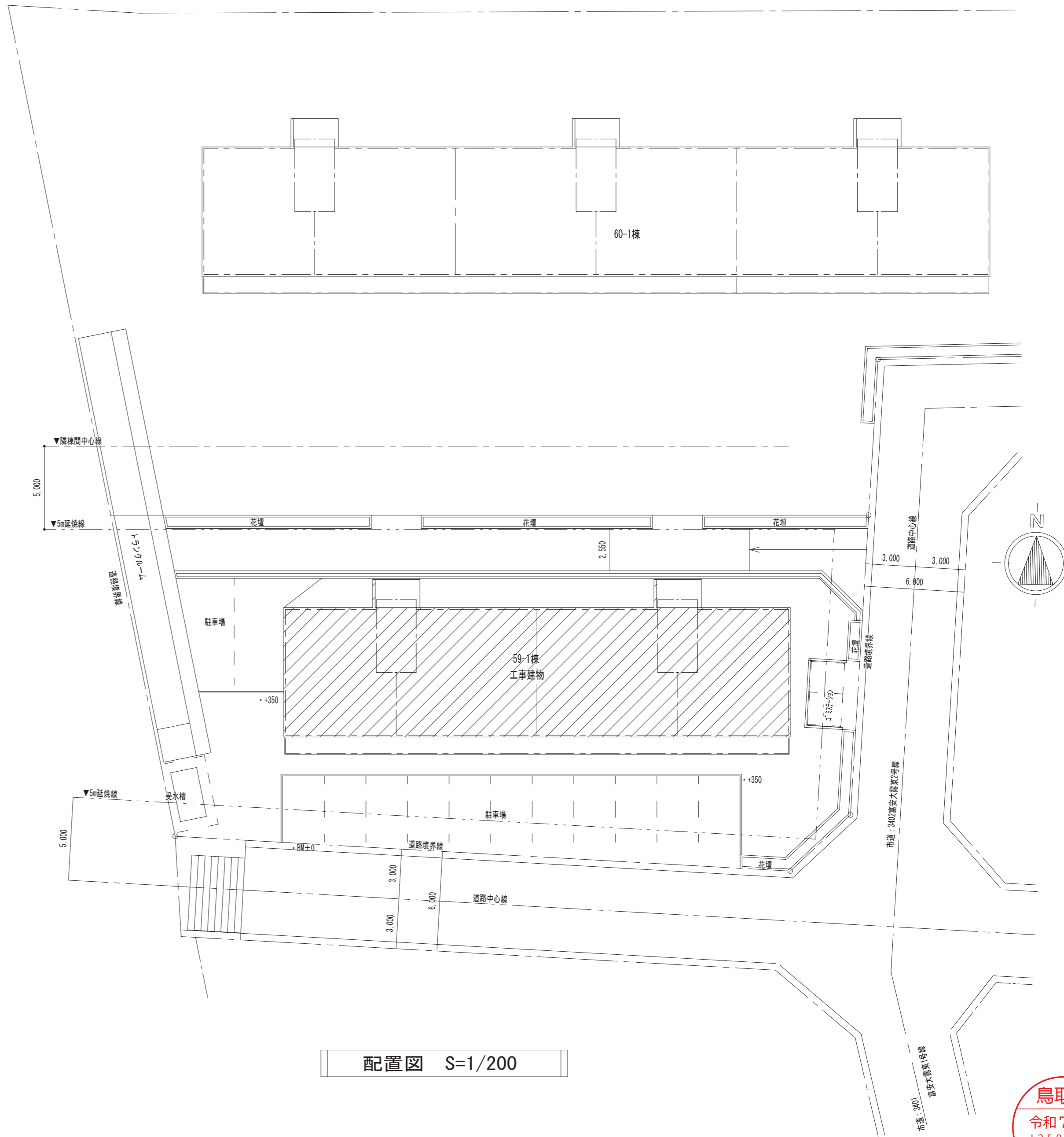
ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

樹 永 井 電 機 工 業 所	南 平 木 電 機 産 業
小 林 制 電 機	樹 富 士 オ ー ト メ ー シ ョ ン
勝 英 産 業 機	南 増 岡 電 機 製 作 所





附近見取図



配置図 S=1/200

鳥取県
令和7年度
J2501267
東部建築住宅
事務所

県営住宅吉成東団地第一期エコ改善工事（59-1棟）（電気設備）

附近見取図、配置図

株式会社 樟設備設計事務所

〒680-0052 鳥取市殿治町14
二級建築士登録番号 第2810号 谷本 正敬

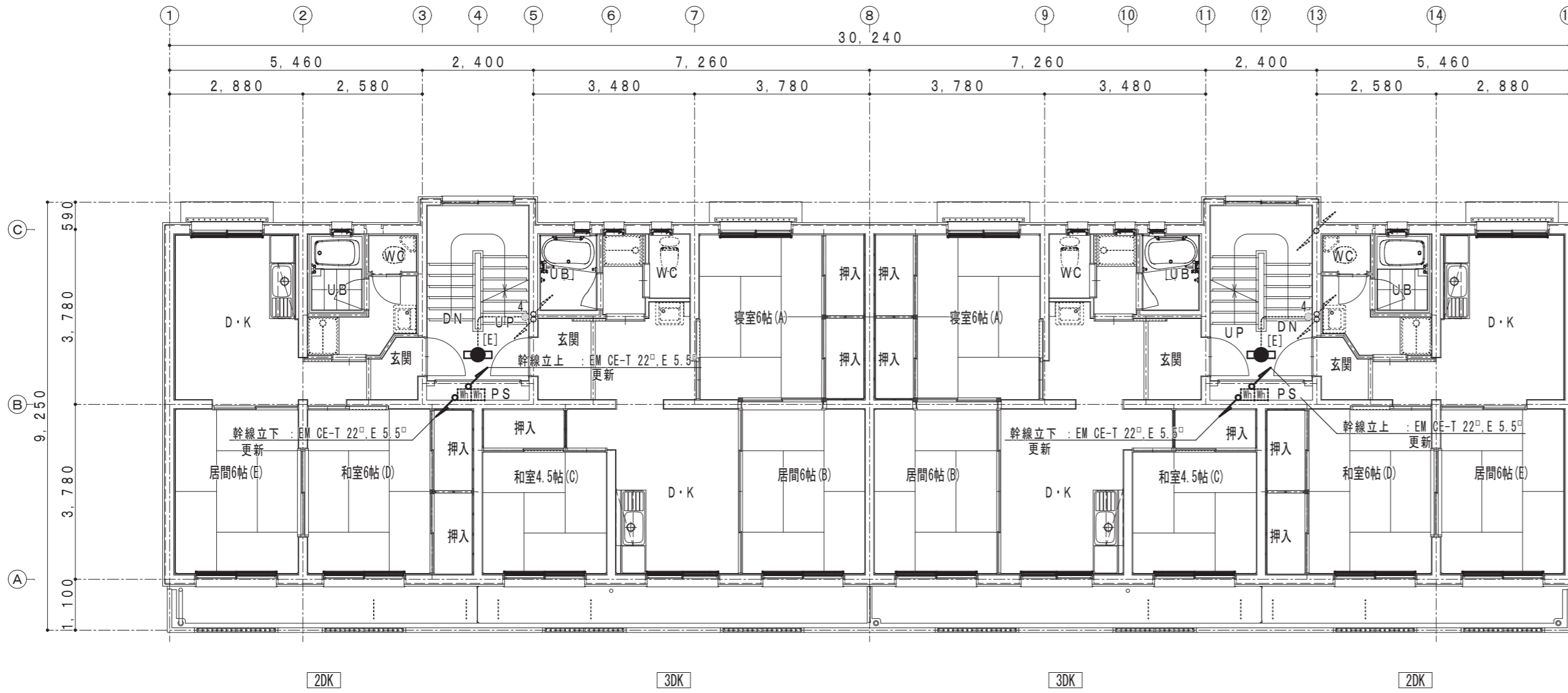
CHECKED BY	DRAWING BY	PROJECT NO	DATE	SCALE	DRAWING NO
谷本	村上	26-03	2026.03	S=1/200	E-04

特記事項

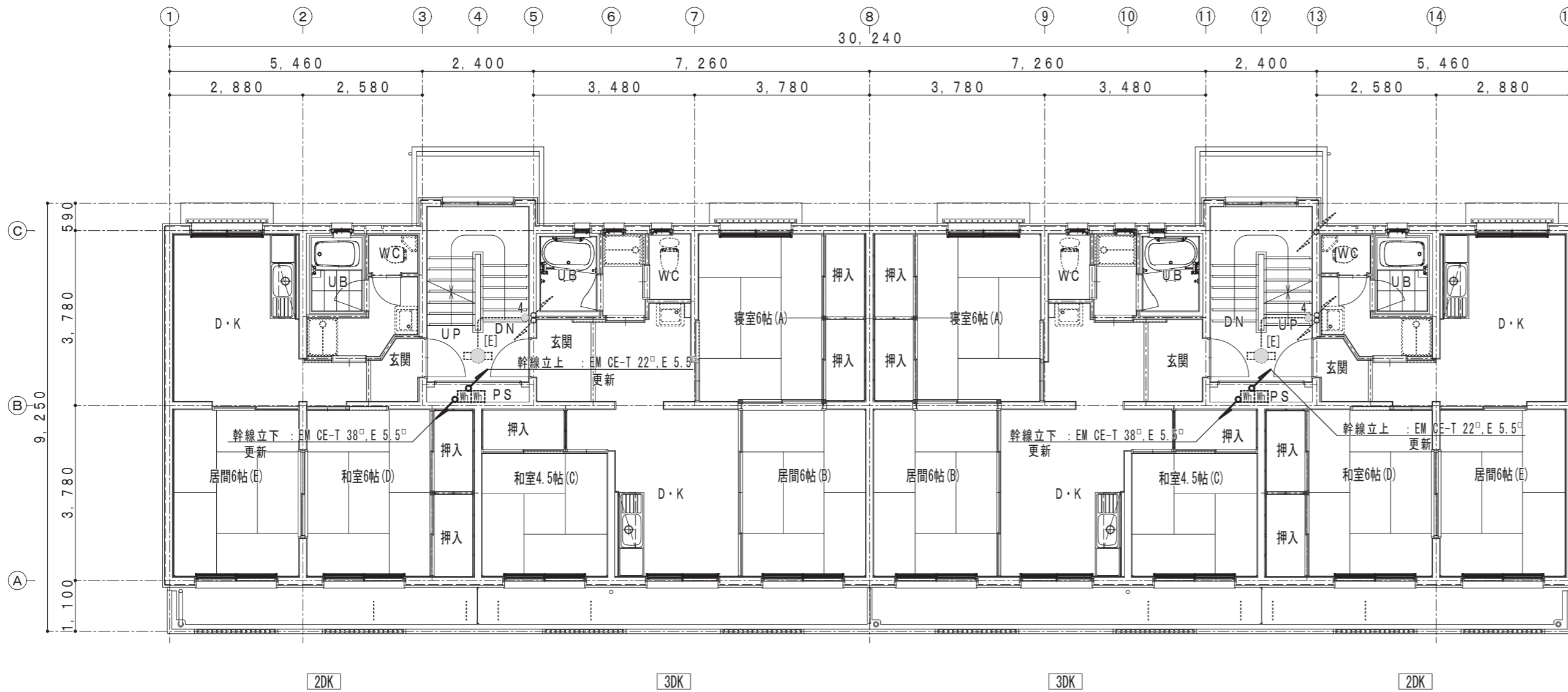
- ・工事着工前に既設確認を行う事とする
- ・図中、細破線の配線・器具は既設のままとし、太線部分が改修工事範囲を示す
- ・別途建築工事の新規PS内断熱材貼付け工事に伴い、本工程にて計器取付ボックス・取付板、端子板(TEL-TV)等の取外し・再取付けを行う。再取付けに際しては、継接等調整を行うこと。
- ・PS内電灯線幹線改修において、各階床板貫通は既設貫通孔を使用する。(保護管のコーキングは更新する。)
- ・図中、特記なき配線は下記とする

凡例

記号	名称	仕様
	LED照明器具	委図参照 直付型 ※新設
	LED照明器具	委図参照 直付型 ※取外・再取付け
	スイッチ	3W・4W 15A x 1 埋込型 ※既設のまま
	電力量計(電力会社)	取付BOX、取付板は既存再利用とする ※再取付け



3階 平面図 S=1/100



2階 平面図 S=1/100

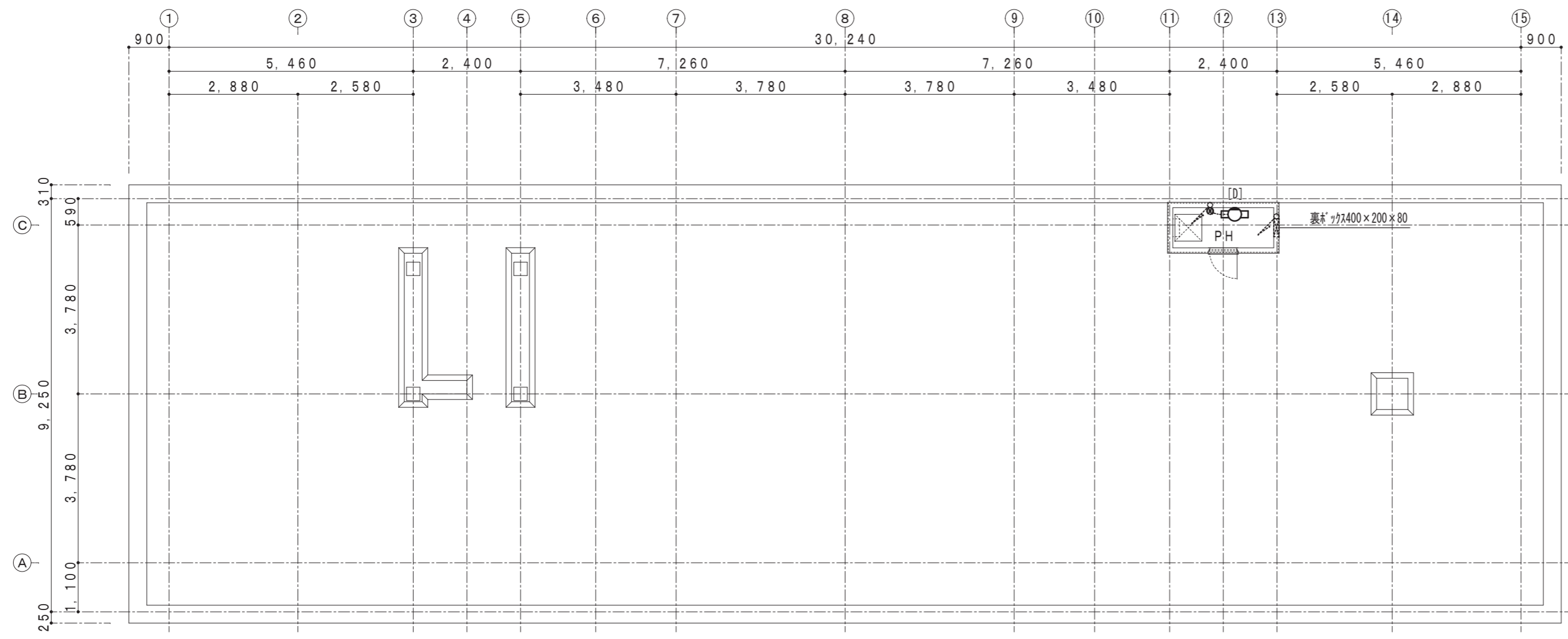
鳥取県
令和7年度
J2501267
東部建築住宅
事務所

特記事項

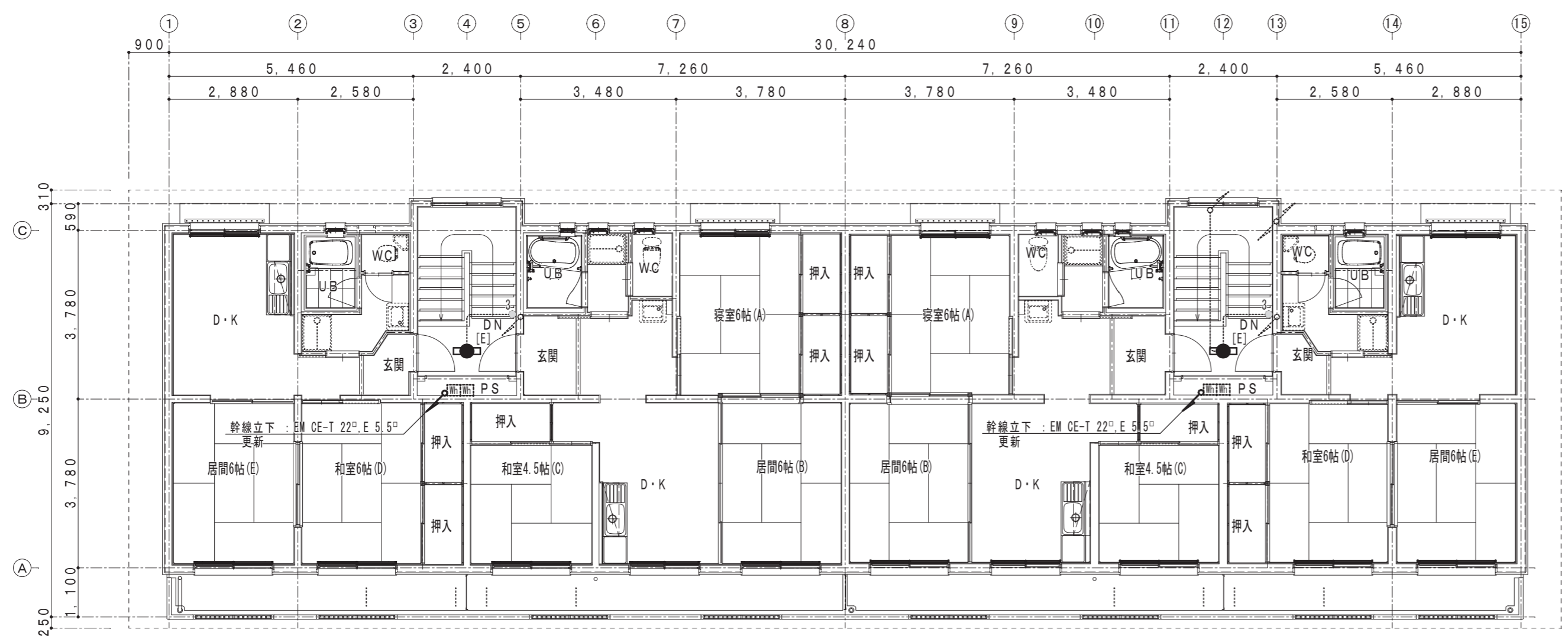
- ・工事着工前に既設確認を行う事とする
- ・図中、細破線の配線・器具は既設のままとし、太線部分が改修工事範囲を示す
- ・別途建築工事の新規PS内断熱材貼付け工事に伴い、本工事に計器取付ボックス・取付板、端子板(TEL-TV)等の取外し・再取付けを行う。再取付けに際しては、継棒等で調整を行うこと。
- ・PS内電灯縦幹線改修において、各階床板貫通は既設貫通孔を使用する。(保護管のコーキングは更新する。)
- ・図中、特記なき配線は下記とする

凡例

記号	名称	仕様
●	LED照明器具	姿図参照 直付型 ※新設
○	LED照明器具	姿図参照 直付型 ※取外・再取付け
○3(4)	スイッチ	3W・4W 15A x 1 埋込型 ※既設のまま
■	電力量計(電力会社)	取付BOX, 取付板は既存再利用とする ※再取付け

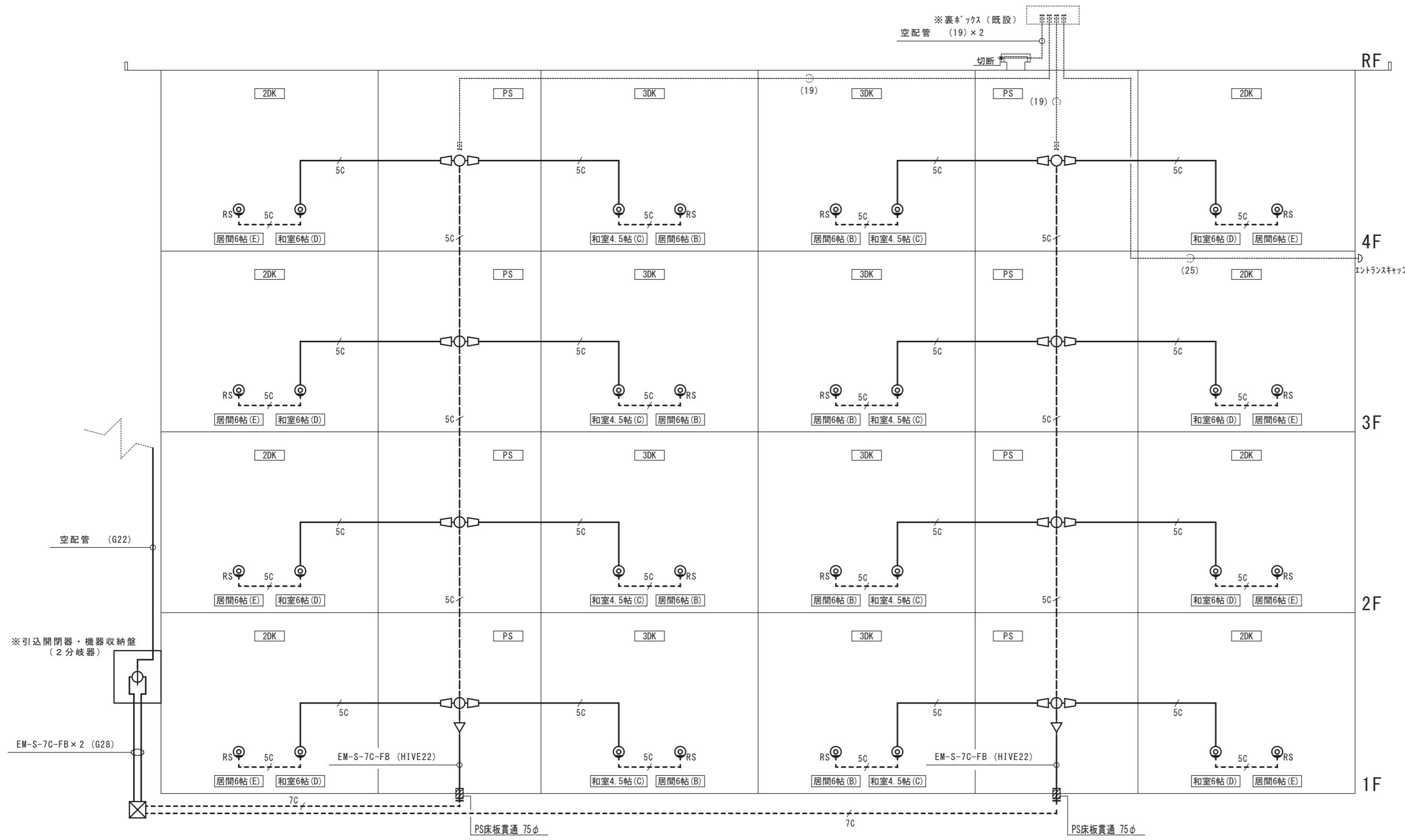


屋上 平面図 S=1/100



4階 平面図 S=1/100

鳥取県
令和7年度
J2501267
東部建築住宅
事務所



テレビ共同受信設備 系統図

特記事項

- ・工事着工前に既設確認を行う事とする
- ・図中、細破線の配線・器具は既設のままとし、太線部分が改修工事範囲を示す
- ・別途建築工事の新規PS内断熱材貼付け工事に伴い、本工事にて計器取付ボックス・取付板、端子板 (TEL-TV) 等の取外し・再取付けを行う。再取付けに際しては、継ぎ等で調整を行うこと。
- ・図中、特記なき配線は下記とする

5C	EM-S-5C-FB	既設配管内入線	天井・壁隠ぺい (C19)
5C	EM-S-5C-FB	既設配管内入線	床隠ぺい (C19)
5C	EM-S-5C-FB	既設配管内入線	天井・壁露出
7C	EM-S-7C-FB	新設配管内入線	床隠ぺい (PF22)

凡例

記号	名称	仕様
▽	増幅器	CATV-1E 露出型 ※新設
◇	分岐器 (双方向用)	2分岐 HPF付 露出型 ※新設
○	分配器 (双方向用)	2分配 HPF付 露出型 ※新設
◎	直列ユニット (中間)	SH-7F 埋込型 ※新設
◎ _{RS}	直列ユニット (端末)	SH-7FS 上信号カット付 埋込型 ※新設
▷	フィルター	上り帯域カット CATV用 露出型 ※新設
☒	プルボックス	250 x 250 x 150 SUS (WP) ※新設

特記事項

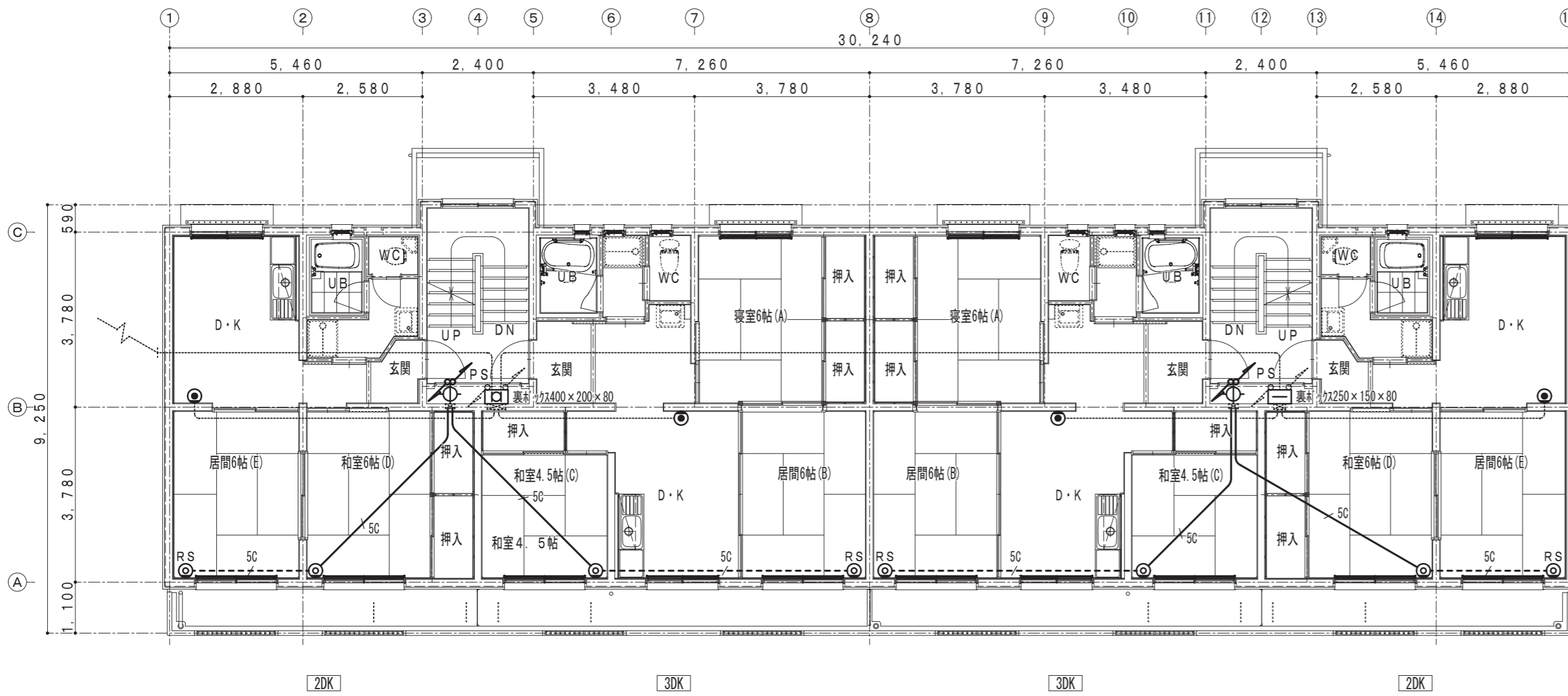
- ・工事前に既設確認を行うとする
- ・図中、細破線の配線・器具は既設のままとし、太線部分が改修工事範囲を示す
- ・別途建築工事の新規PS内断熱材貼付け工事に伴い、本工事にて端子板(TEL-TV)等の取外し・再取付けを行う。再取付けに際しては、継ぎ等で調整を行うこと。

・図中、特記なき配線は下記とする

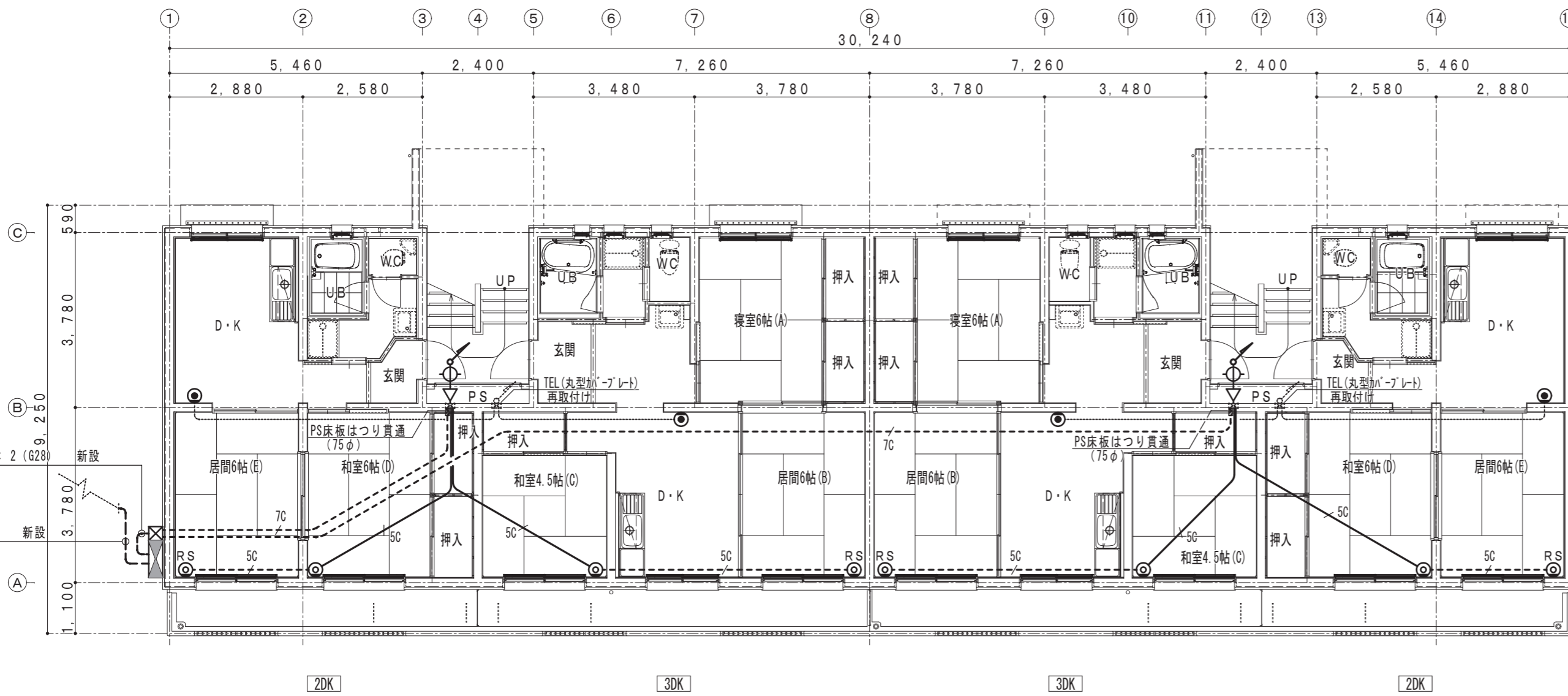
5C	EM-S-5C-FB	既設配管内入線	天井・壁隠べい (C19)
5C	EM-S-5C-FB	既設配管内入線	床隠べい (C19)
7C	EM-S-7C-FB	新設配管内入線	床隠べい (PF22)
---	既設配管・配線	既設のまま	天井・壁隠べい

凡例

記号	名称	仕様	仕様
□	集合保安器取付板	500×800	※再取付け
▭	端子板取付板	300×400	※再取付け
▽	増幅器	CATV-1E	露出型 ※新設
⊕	分岐器(双方向用)	2分岐 HPP付	露出型 ※新設
⊙	直列ユニット(中間)	SH-7F	埋込型 ※新設(プレート共)
⊙RS	直列ユニット(端末)	SH-7FS 上信号カット付	埋込型 ※新設(プレート共)
●	電話用アウトレット		※新設
⊠	プルボックス	250×250×150	SUS(WP) ※新設
⊞	アウトレットボックス	大四角 深型	※既設のまま

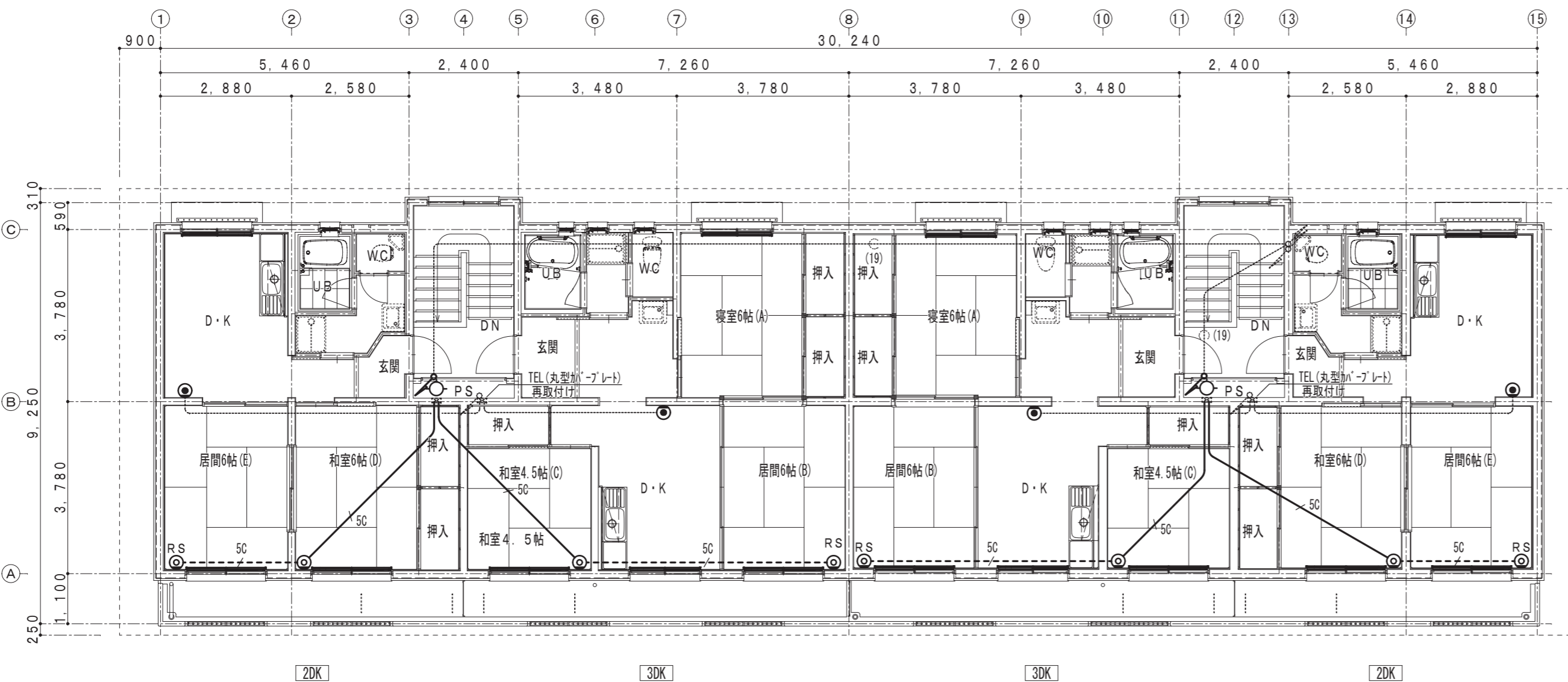


2階 平面図 S=1/100

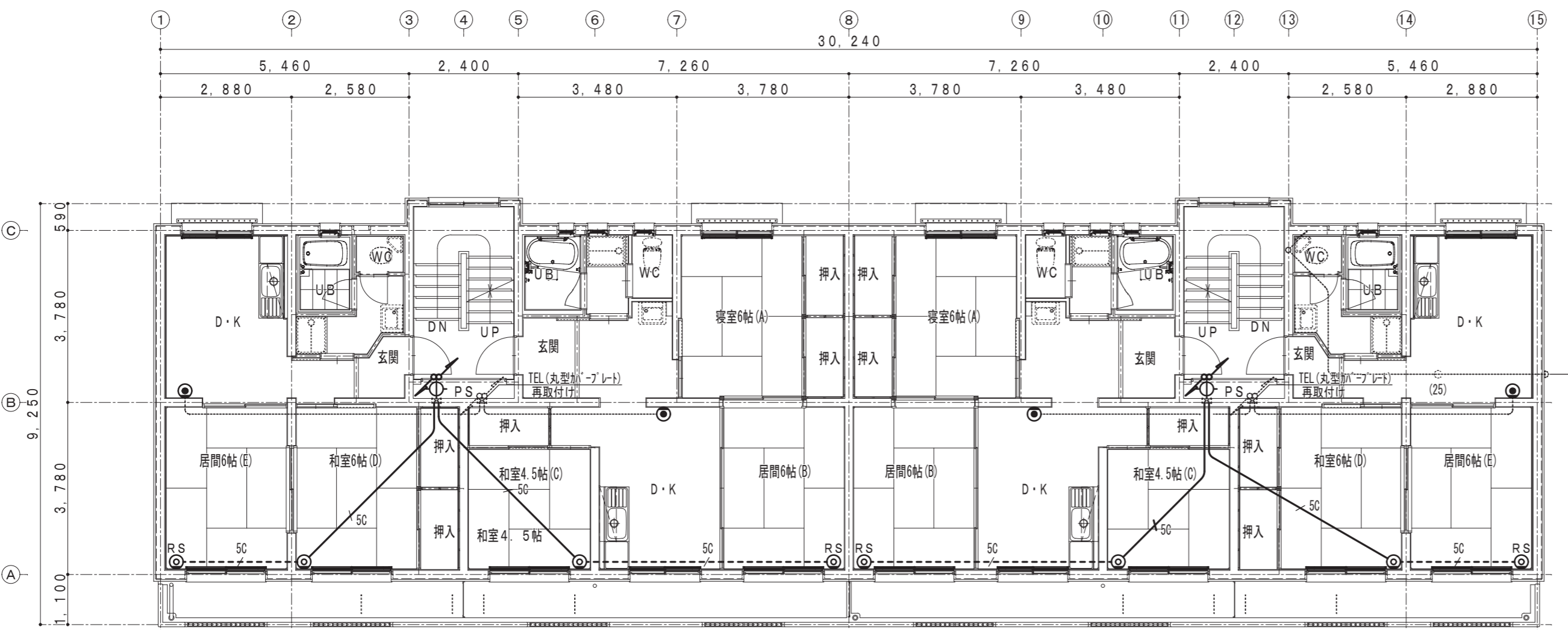


1階 平面図 S=1/100

鳥取県
令和7年度
J2501267
東部建築住宅
事務所



4階 平面図 S=1/100



3階 平面図 S=1/100

特記事項

- ・工事着工前に既設確認を行う事とする
 - ・図中、細破線の配線・器具は既設のままとし、太線部分が改修工事範囲を示す
 - ・別途建築工事の新規PS内断熱材貼付け工事に伴い、本工事にて端子板 (TEL-TV) 等の取外し・再取付けを行う。再取付けに際しては、継棒等で調整を行うこと。
 - ・図中、特記なき配線は下記とする
- | | | | |
|----|------------|---------|---------------|
| 5C | EM-S-5C-FB | 既設配管内入線 | 天井・壁隠ぺい (C19) |
| 5C | EM-S-5C-FB | 既設配管内入線 | 床隠ぺい (C19) |
| | 既設配管・配線 | 既設のまま | 天井・壁隠ぺい |

凡例

記号	名称	仕様
⊕	分岐器 (双方向用)	2分岐 HPP付 露出型 ※新設
⊙	分配器 (双方向用)	2分配 HPP付 露出型 ※新設
⊙	直列ユニット (中間)	SH-7F 埋込型 ※新設 (プレート共)
⊙RS	直列ユニット (端末)	SH-7FS 上信号カット付 埋込型 ※新設 (プレート共)
⊙	電話用アウトレット	※新設
□	アウトレットボックス	大四角 深型 ※既設のまま

エントランスキャブ×1
残置

鳥取県
令和7年度
J2501267
東部建築住宅
事務所

照明器具参考図

[A1] LEDダウンライト	[B] LED流し元灯	[C] LEDシーリングライト
----------------	-------------	-----------------

LED内蔵ダウンライト(ひと粒タイプ)、電源ユニット内蔵
光束維持時間40000時間、4000K、Ra85
器具光束:620lm、消費電力:4.2W、電圧:100-242V
枠:7&3/4インチ(約175mm)埋込穴φ85
反射板(下部):7&3/4インチ(約175mm)埋込穴φ85
反射板(上部):プラスチック(約175mm)

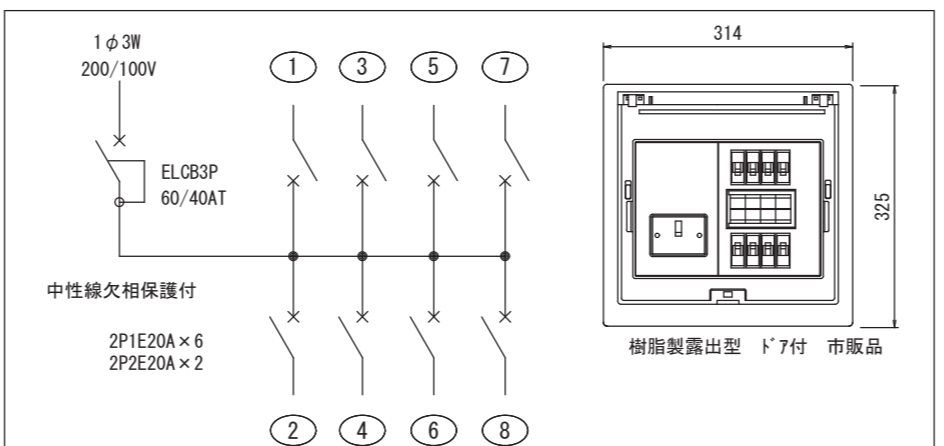
直管形LEDランプ FL20W×1灯相当
昼白色(5000K)、Ra85
器具光束3699lm、消費電力29.6W
本体:鋼板(約175mm)
セード:ポリカーボネイト樹脂(乳白)
ブラケット付、コンセント付
消費電力:10W、器具光束:540lm

昼白色(5000K)、Ra85
器具光束3699lm、消費電力29.6W
セード:ポリカーボネイト樹脂(乳白)
天直付型
引掛シーリング取付タイプ

[A2] LEDダウンライト

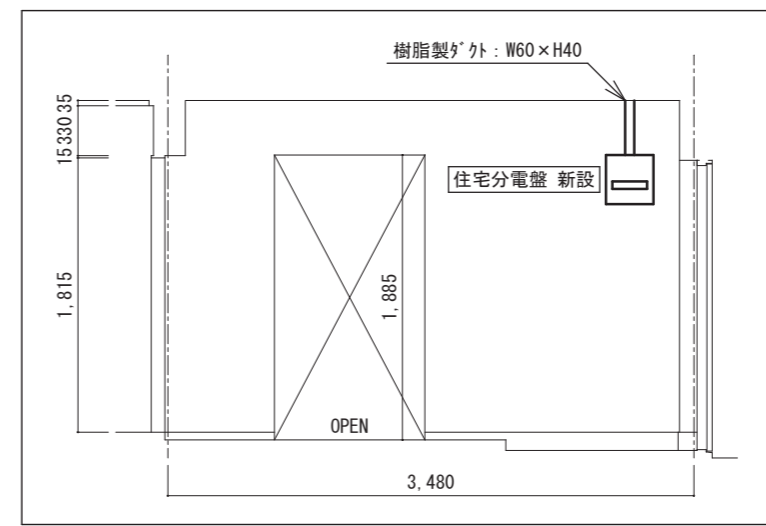
LED内蔵ダウンライト(ひと粒タイプ)
3500K、Ra83、拡散タイプ
光源照射角15°、電圧100V
光束維持時間:40000時間
枠・反射板:7&3/4インチ(約175mm)埋込穴φ75
光束:325lm、埋込穴φ75

住戸分電盤 改修後 結線図・参考図



回路番号	2DKタイプ	3DKタイプ
1	電灯・給湯器・換気扇用 コンセント	電灯・給湯器・換気扇用 コンセント
2	D・K コンセント	D・K コンセント
3	和室 コンセント	和室 コンセント
4	洗面・WC コンセント	洗面・WC コンセント
5	洗濯・乾燥機用 コンセント	洗面・WC コンセント
6	予備	洗濯・乾燥機用 コンセント
7	和室エアコン	和室エアコン
8	和室エアコン	和室エアコン

住戸分電盤取付 参考展開図



機器参考図

チャイム

70
170
2027.5

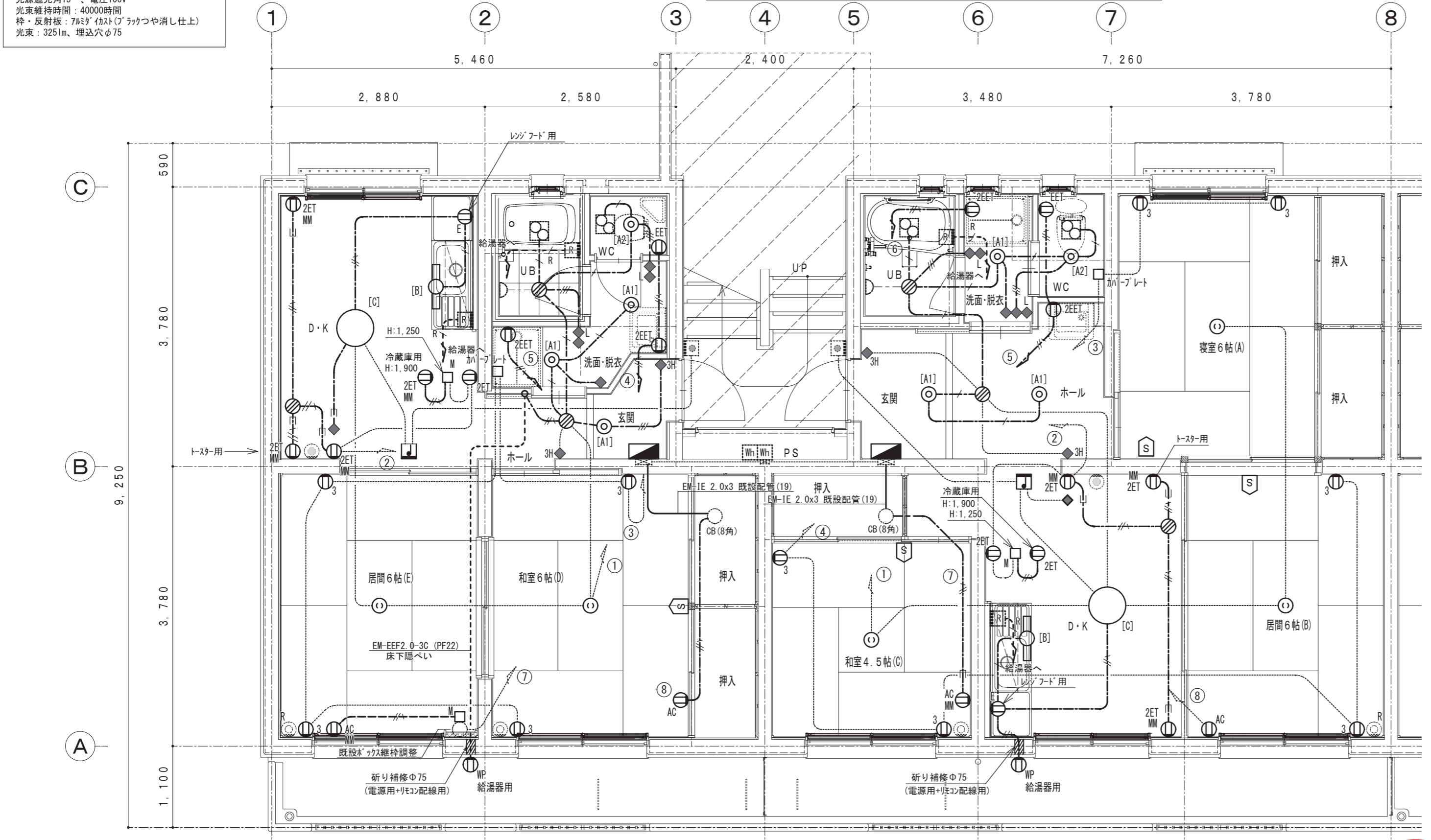
定格	電源電圧 AC100V 50/60Hz
消費電力	2W
操作電圧	DC9V
音量	65dB以上(定格電圧印加 前方1mにて)
寿命	100,000回鳴動以上
配線長	最大100m(操作側)
形状	適合ダクト(1層用×付録7参照)

特記事項

- ・工事着工前に既設確認を行う事とする
 - ・図中、細線の配線・器具は既設のままとし、太線部分が改修工事範囲を示す
 - ・ケーブル配線において新設壁立下げ部は、PF管にて保護すること
 - ・既設壁等の貫通は、鉄筋位置を調査の上行い、鉄筋の切断がないようにする
 - ・東側住戸については本配線図の反転プランとする
 - ・住戸内に設置してある住宅用火災警報器は取外し・再取付とする
 - ・流し元灯の吊戸棚内配線は樹脂製ダクトにて保護すること
 - ・図中、特記なき配線は下記とする なお、和室内メタルモールは指定色塗装とする(押入内は除く)
- | | | |
|------------------------|-------|----------|
| EM-EEF 2.0 - 2C | 新設 | 天井内 |
| EM-EEF 2.0 - 3C, 1Cアース | 新設 | 天井内 |
| EM-EEF 1.6 - 2C | 新設 | 天井内 |
| EM-EEF 1.6 - 3C | 新設 | 天井内 |
| EM-EEF 1.6 - 3C, 1Cアース | 新設 | 天井内 |
| リモコンケーブル(機械設備支給品) | 新設 | 床下(PF16) |
| EM-EEF 2.0 - 3C, 1Cアース | 新設 | 露出(MMA) |
| 立下げ配線を1種金属線び(A型)で保護する | 新設 | |
| 既設配管・配線 | 既設のまま | |
- ・住戸~外部(P.S含む)に亘る配管は、バテで塞ぐこと。

凡例

記号	名称	仕様
■	分電盤	配線立下げ用樹脂製ダクト共(参考展開図参照) 露出型 ※新設
○	LED照明器具 A	ダウンライト ※新設
□	LED照明器具 B	流し元灯 コンセント・プルスイッチ付 ※新設
○	LED照明器具 C	シーリングライト 引掛シーリング共 ※新設
○	ジョイントボックス	※新設
◆	ワイドスイッチ	1P 15A x 1 ネーム付 埋込型 ※新設
◆L	ワイドスイッチ	1P (L) 15A x 1 ネーム付 埋込型 ※新設
◆◆L	ワイドスイッチ	1P (L) 15A x 2 ネーム付 埋込型 ※新設
◆3H	ワイドスイッチ	3W (H) 15A x 1 ネーム付 埋込型 ※新設
○ ₃	コンセント	2P 15A x 3 埋込型 ※新設
○ _E	コンセント	2P 15AEx 1 埋込型 ※新設
○ _{EET}	コンセント	2P 15AEx 1 ET 埋込型 ※新設
○ _{2ET}	コンセント	2P 15A x 2 ET 埋込型 ※新設
○ _{2EET}	コンセント	2P 15AEx 2 ET 埋込型 ※新設
○ _{AC}	コンセント	2P15/20AEx 1 ET エアコン用 埋込型 ※新設
○ _{WP}	コンセント	2P 15AEx 1 ET 入線機能付 埋込型 ※新設
○	引掛ローゼット	埋込型 ※新設
□M	露出ダクトボックス	MMA用 ※新設
□	カバープレート	
■	チャイム	機器姿図参照 露出型 ※新設
■	押ボタン	機器姿図参照 埋込型 ※既設のまま
S	住宅用火災警報器	※取外し・再取付
Wh	電力量計(電力会社)	取付BOX、取付板は既存再利用とする ※取外し・再取付
R	ガス給湯器用リモコン	※機械設備支給品 取付(取付・配線・接続費は本工事) ※新設
○	換気扇	※機械設備工事(配線・接続費は本工事) ※新設
○	浴槽灯(リモコン付属品)(ケーブル共)	※別途建築工事に取付 電源接続は電気工事 ※新設



■改修範囲凡例
建築工事改修対象外

2DK	
玄関ホ-ル	A1 1台
洗面・脱衣	A1 2台
WC	A2 1台
D・K	B 1台
	C 1台

3DK	
玄関ホ-ル	A1 2台
洗面・脱衣	A1 1台
WC	A2 1台
D・K	B 1台
	C 1台

1~4階 平面図(住戸内) S=1/50 ~2DK, 3DK~

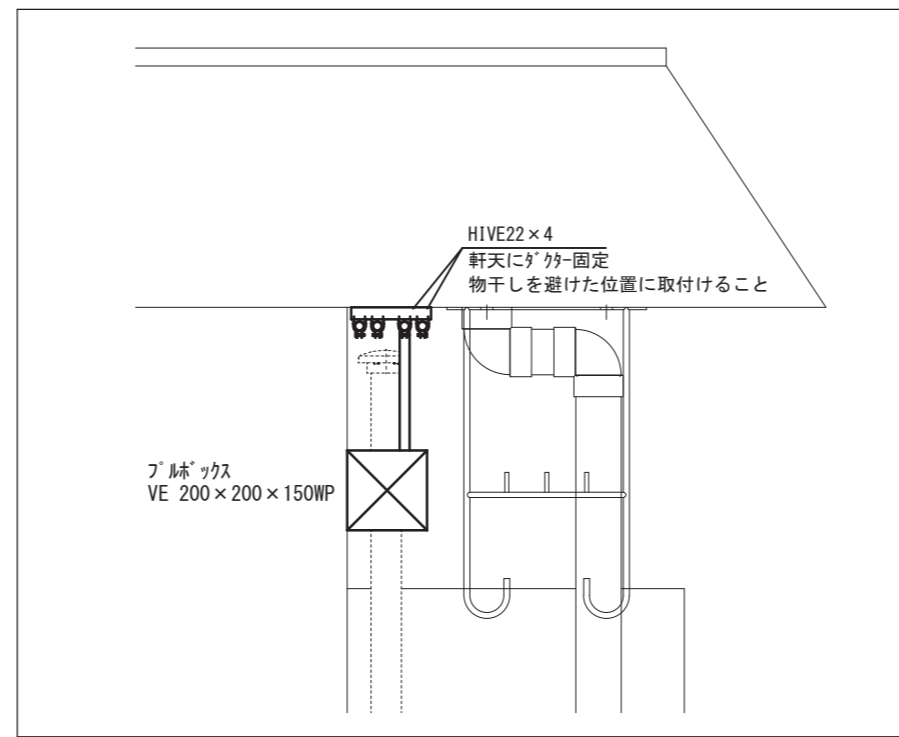


凡例

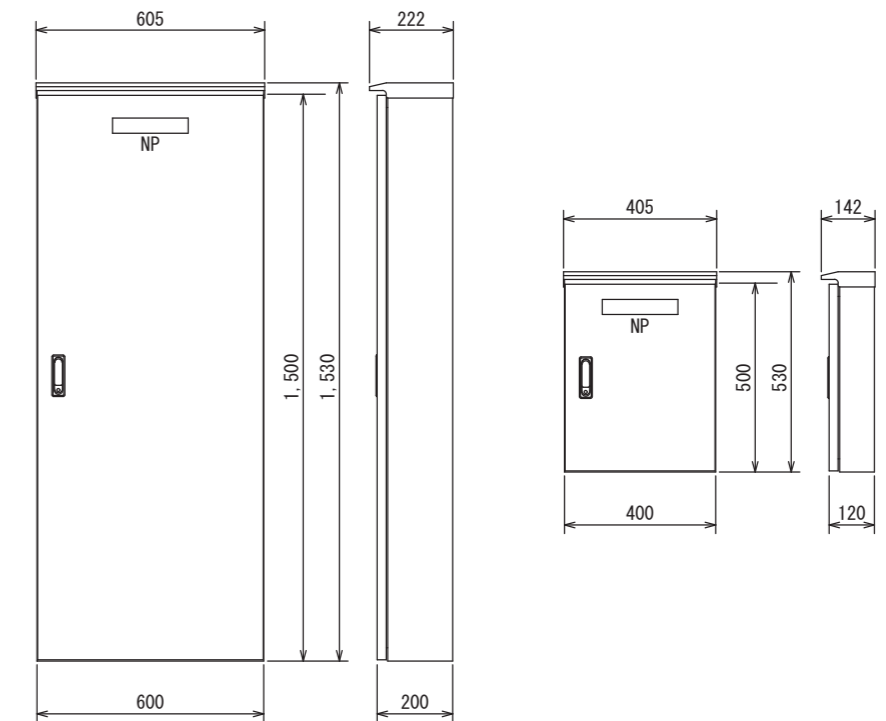
記号	摘要	備考
☒	ブチツカス	VE 200×200×150WP ※指定色(ベージュ系) 新設

注記

- 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
- 光引込用配管に於いて、外壁配管・ブチツカスの色は建物と調和するよう、監督員と協議の上決定すること。
- 光引込用配管に於いて、将来通線用の導線を見込むこと。
- 図中、指示なきツカスは標準図または凡例による。



A-A' 断面拡大図

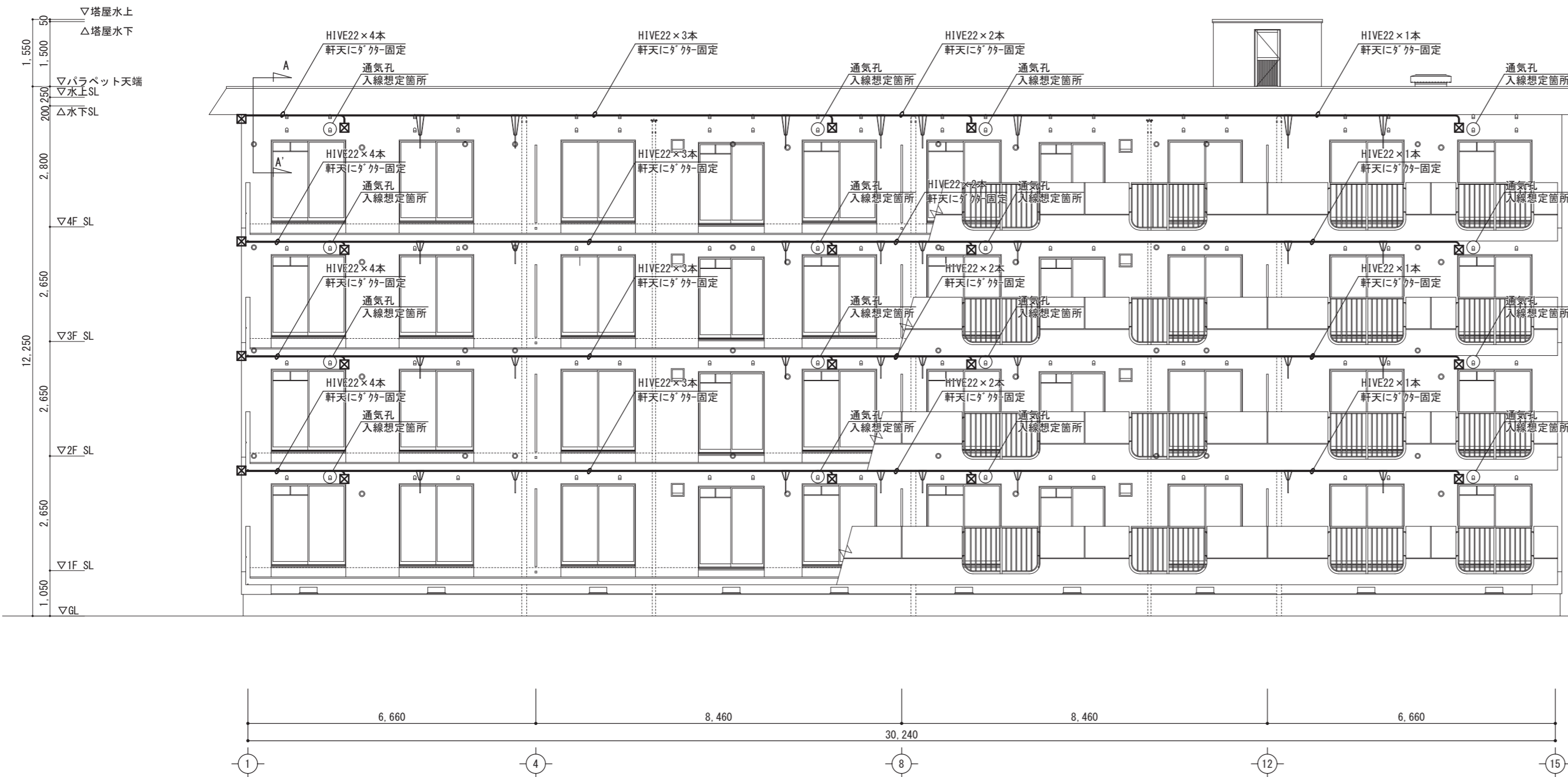


光機器収納盤 参考姿図

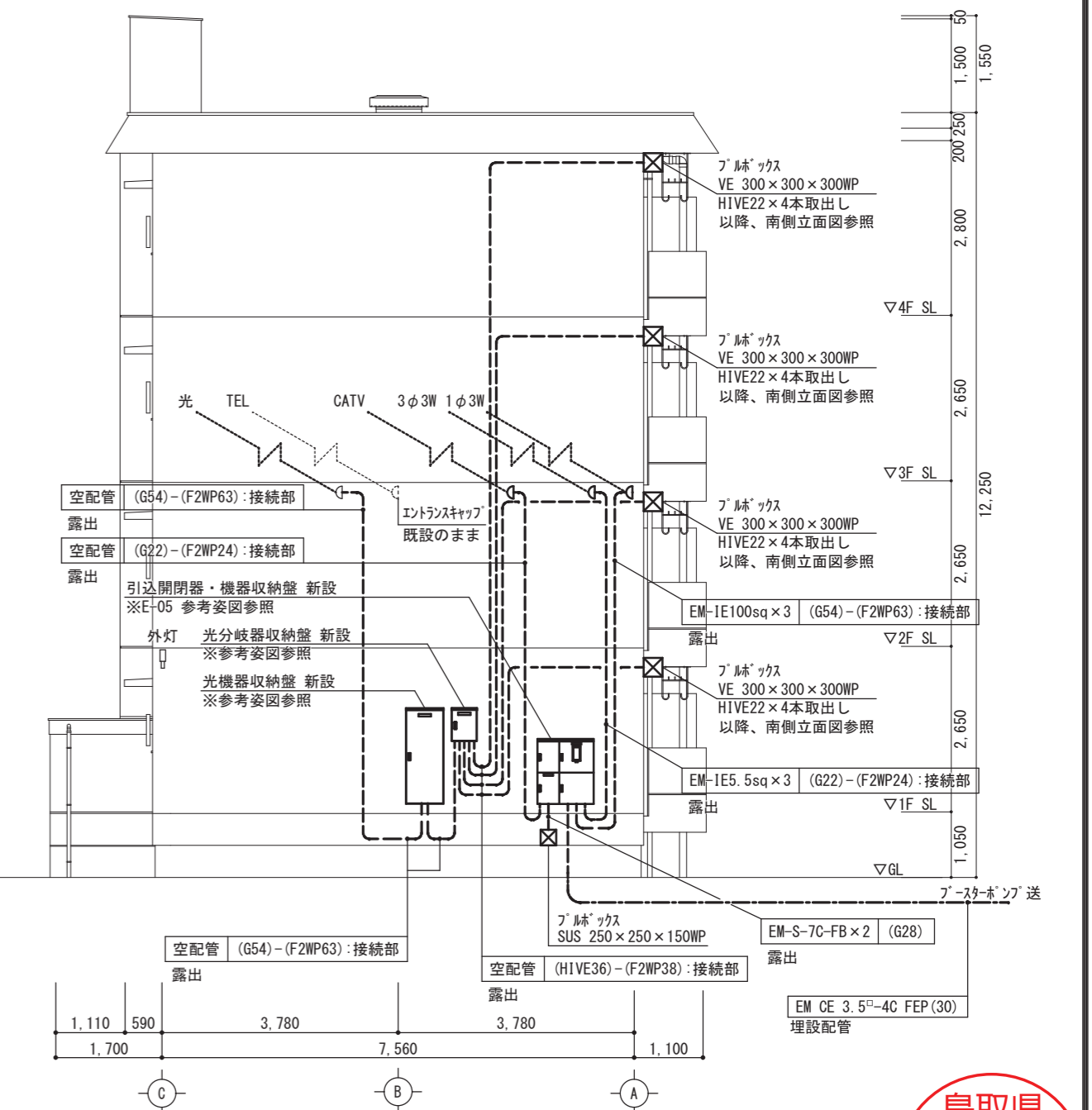
光分岐器収納盤 参考姿図

屋外防水壁掛型、ステンレス製、木板付
市販品、標準色塗装
図中寸法は参考とする。

屋外防水壁掛型、ステンレス製、木板付
市販品、標準色塗装
図中寸法は参考とする。



光引込用配管 改修後 南側立面図 S=1/100



強電・弱電引込 改修後 東側立面図 S=1/100

撤去図

特記事項

- ・工事着工前に既設確認を行う事とする
- ・図中、細破線の配線・器具は既設のままとし、太線部分が改修工事範囲を示す
- ・図中に明記が無い場合でも撤去工事に支障が生ずる箇所は、監督員と撤去処分・取外し再取付の協議後に施工を行うこととする
- ・躯体埋設部の配管、地中埋設配管は埋設配管内の配線のみ撤去とし、配管部分は残置とする
- ・別途建築工事のPS内断熱改修工事に伴い、本工事にて計器取付ボックス・取付板、端子板(TEL-TV)等の取外し(再取付あり)を行う。
- ・図中、特記なき配線は下記とする

既設配管・配線
 1V 2.0 x 2
 残置 天井・壁隠ぺい
 配管内抜線 天井・壁隠ぺい(C19)

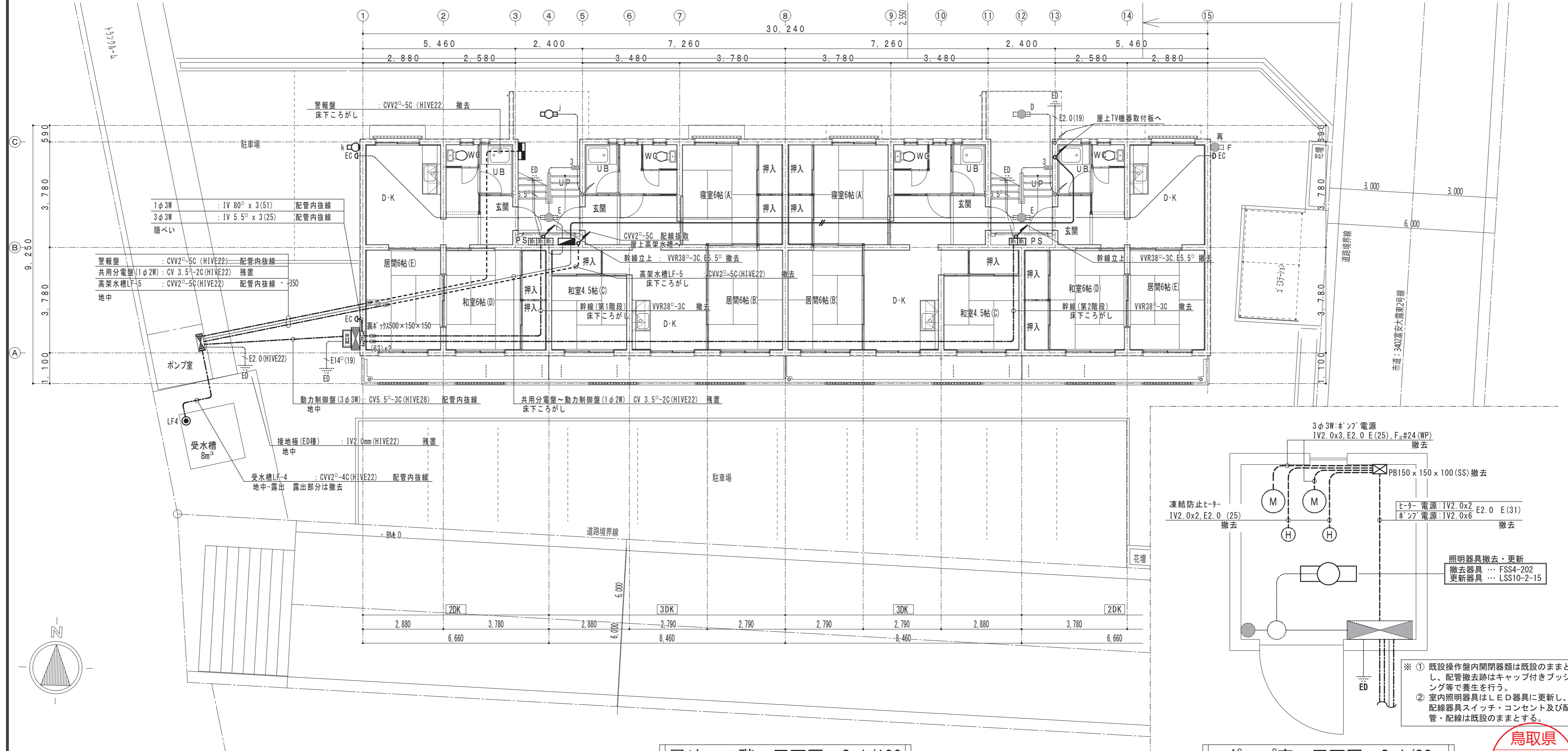
※撤去引込開閉器盤(屋外鋼板製露出型)
 ・電灯回路 CKS 3P100A/F100A x 2
 ・動力回路 MCB 3P50AF/30AT x 1
 電力量計用スペース x 1

凡例

記号	名称	仕様
	引込開閉器盤	1φ・3φ 750x750x180 露出型 ※撤去処分
	警報盤	鉄製 壁掛型 ※撤去後加プレート取付 露出型 ※撤去処分
	電力量計(電力会社)	取付板は既存再利用とする ※取外し
	分電盤	樹脂製 壁掛型 露出型 ※取外し
	動力制御盤	鉄製 壁掛型 1000x700x200 露出型 ※既設のまま
	電極	4極・5極 機械設備工事撤去

記号	名称	仕様
	照明器具	FL 20W x 1 防犯灯 ※撤去処分
	LED照明器具	姿図参照 防犯灯 ※取外・再取付け
	照明器具	FL 10W x 1 ブラケット ※撤去処分
	LED照明器具	姿図参照 直付型 ※取外・再取付け
	スイッチ	1P 15A x 1 埋込型 ※既設のまま
	スイッチ	3W・4W 15A x 1 埋込型 ※既設のまま
	エントランスキャップ	C(19) ※撤去処分

※ 防犯灯及び階段室既設照明器具は破損(汚損)防止のため、取外・再取付けとする



屋外・1階 平面図 S=1/100

ポンプ室 平面図 S=1/30

※ ① 既設操作盤内開閉器類は既設のままとし、配管撤去跡はキャップ付きプッシング等で養生を行う。
 ※ ② 室内照明器具はLED器具に更新し、配線器具スイッチ・コンセント及び配管・配線は既設のままとする。

鳥取県
 令和7年度
 J2501267
 鳥取県建築士事務所
 事務所
 E-13

県営住宅吉成東団地第一期エコ改善工事(59-1棟)(電気設備)

構内配電線路・幹線・電灯・動力設備 屋外・1階 平面図 (撤去図)

株式会社 樟設備設計事務所 〒680-0052 鳥取市殿治町14 二級建築士登録番号 第2810号 谷本 正敏

CHECKED BY	DRAWING BY	PROJECT NO	DATE	SCALE
		25-20	2026.03	S=1/100 S=1/30

撤去図

特記事項

- ・工事前に既設確認を行う事とする
- ・図中、細破線の配線・器具は既設のままとし、太線部分が改修工事範囲を示す
- ・図中に明記が無い場合でも撤去工事に支障が生ずる箇所は、監督員と撤去処分・取外し再取付の協議後に施工を行うこととする
- ・躯体埋設部の配管、地中埋設配管は埋設配管内の配線のみ撤去とし、配管部分は残置とする
- ・別途建築工事のPS内断熱改修工事に伴い、本工事にて計器取付ボックス・取付板、端子板(TEL-TV)等の取外し(再取付あり)を行う。
- ・図中、特記なき配線は下記とする

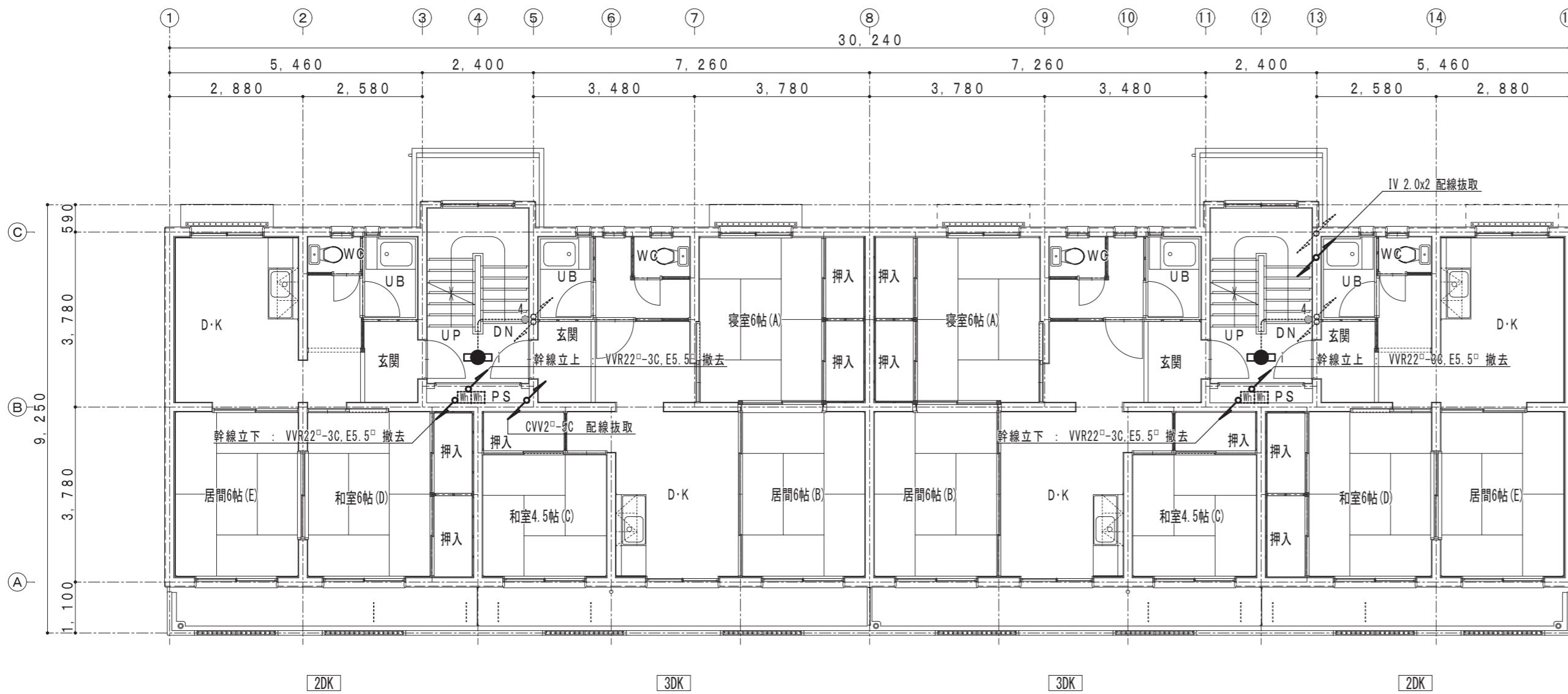
..... 既設配管・配線 残置 天井・壁隠ぺい

凡例

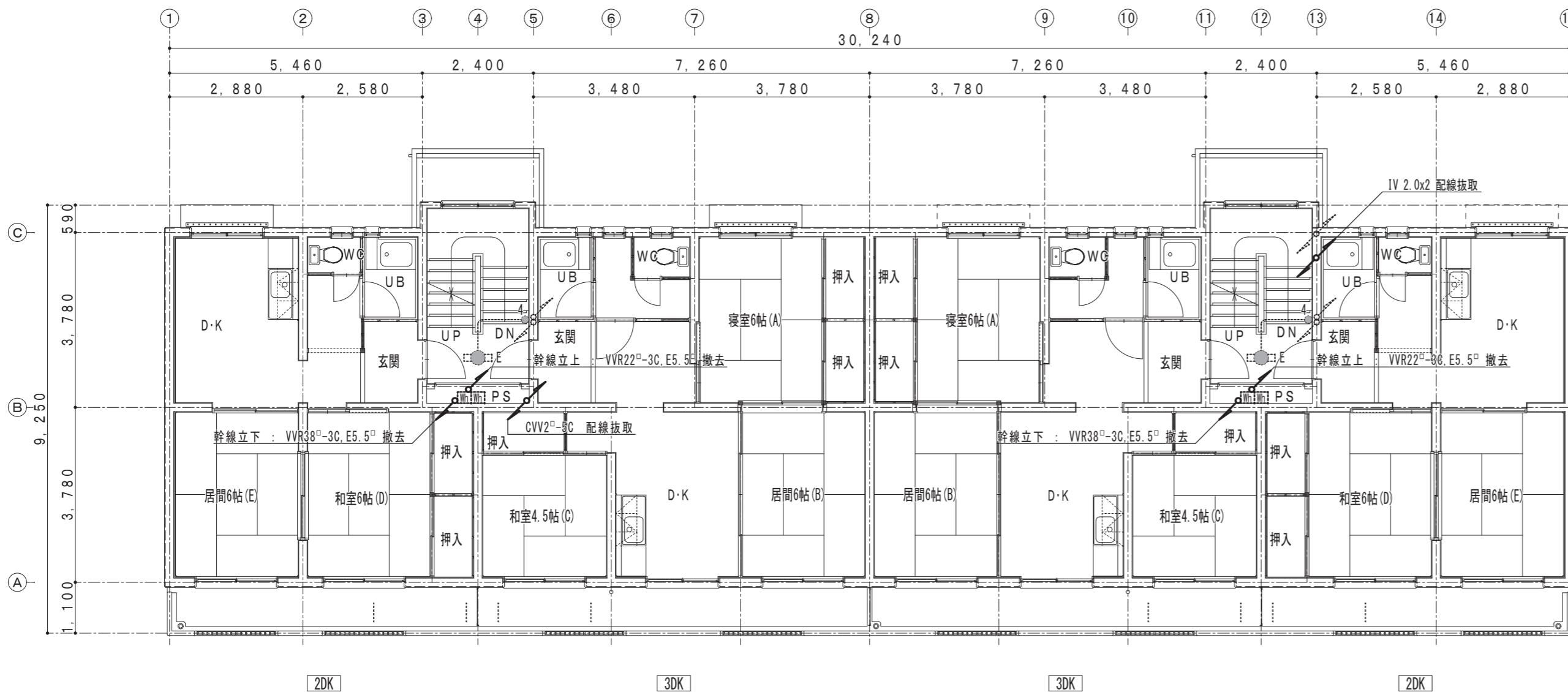
記号	名称	仕様
● i	照明器具	FL 10W x 1 非常灯兼用型 直付型 ※撤去処分
□ E	LED照明器具	姿図参照 直付型 ※取外し・再取付け
● 3(4)	スイッチ	3W・4W 15A x 1 埋込型 ※既設のまま
Wh	電力量計(電力会社)	取付板は既存再利用とする ※取外し

照明器具 撤去姿図

h	i	j	k
P.H. F10x1.7寸	階段 F10x1.7寸	出入口 F10x1.7寸	屋外防犯灯 F20x1.7寸



3階 平面図 S=1/100



2階 平面図 S=1/100

撤去図

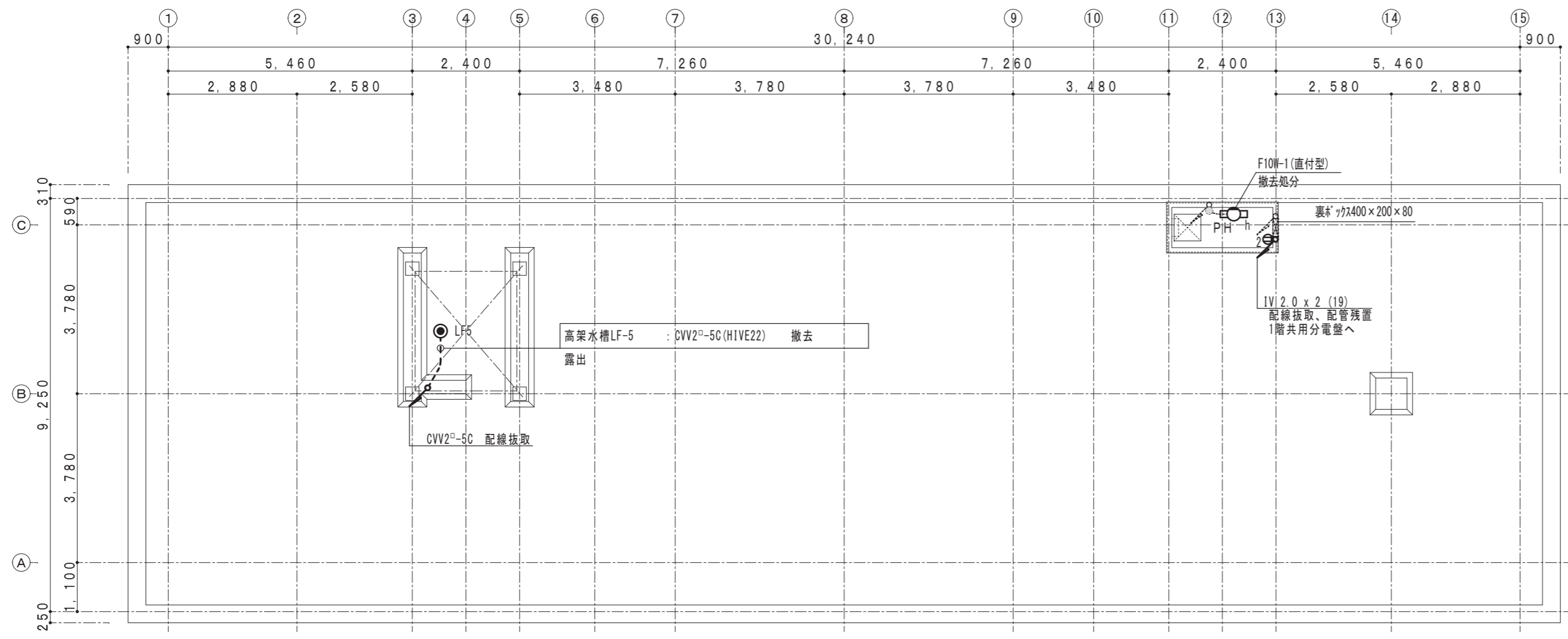
特記事項

- ・工事着工前に既設確認を行う事とする
- ・図中、細破線の配線・器具は既設のままとし、太線部分が改修工事範囲を示す
- ・図中に明記が無い場合でも撤去工事に支障が生ずる箇所は、監督員と撤去処分・取外し再取付の協議後に施工を行うこととする
- ・躯体埋設部の配管、地中埋設配管は埋設配管内の配線のみ撤去とし、配管部分は残置とする
- ・別途建築工事のPS内断熱改修工事に伴い、本工事で計器取付ボックス・取付板、端子板 (TEL-TV) 等の取外し (再取付あり) を行う。
- ・図中、特記なき配線は下記とする

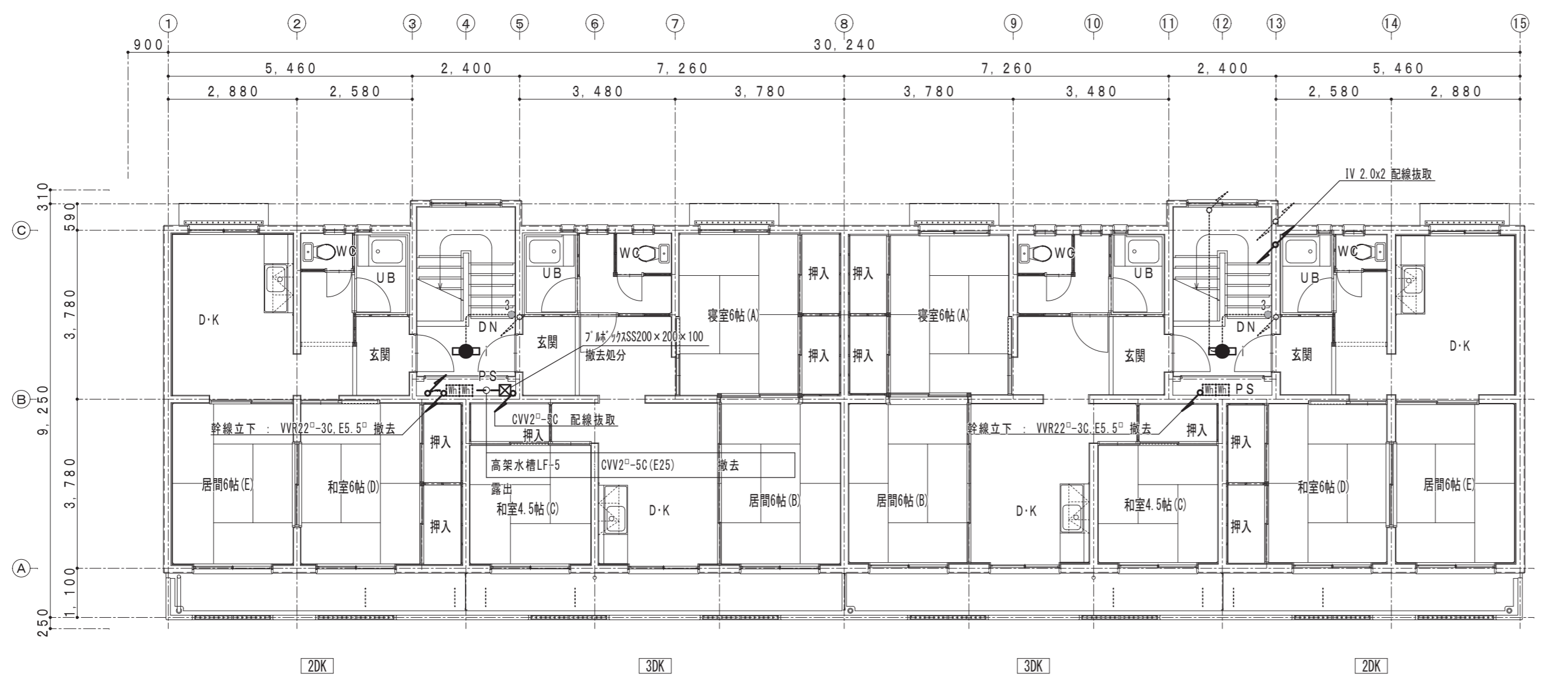
..... 既設配管・配線 残置 天井・壁隠ぺい

凡例

記号	名称	仕様
□h	照明器具	FL 10W x 1 プラケット ※撤去処分
●i	照明器具	FL 10W x 1 非常灯兼用型 直付型 ※撤去処分
●	スイッチ	1P 15A x 1 埋込型 ※既設のまま
●3(4)	スイッチ	3W・4W 15A x 1 埋込型 ※既設のまま
Ⓜ ₂	コンセント	2P 15A x 2 埋込型 ※撤去処分
■	電力量計 (電力会社)	取付板は既存再利用とする ※取外し
●LF5	電極	5極 機械設備工事撤去



屋上 平面図 S=1/100



4階 平面図 S=1/100



撤去図

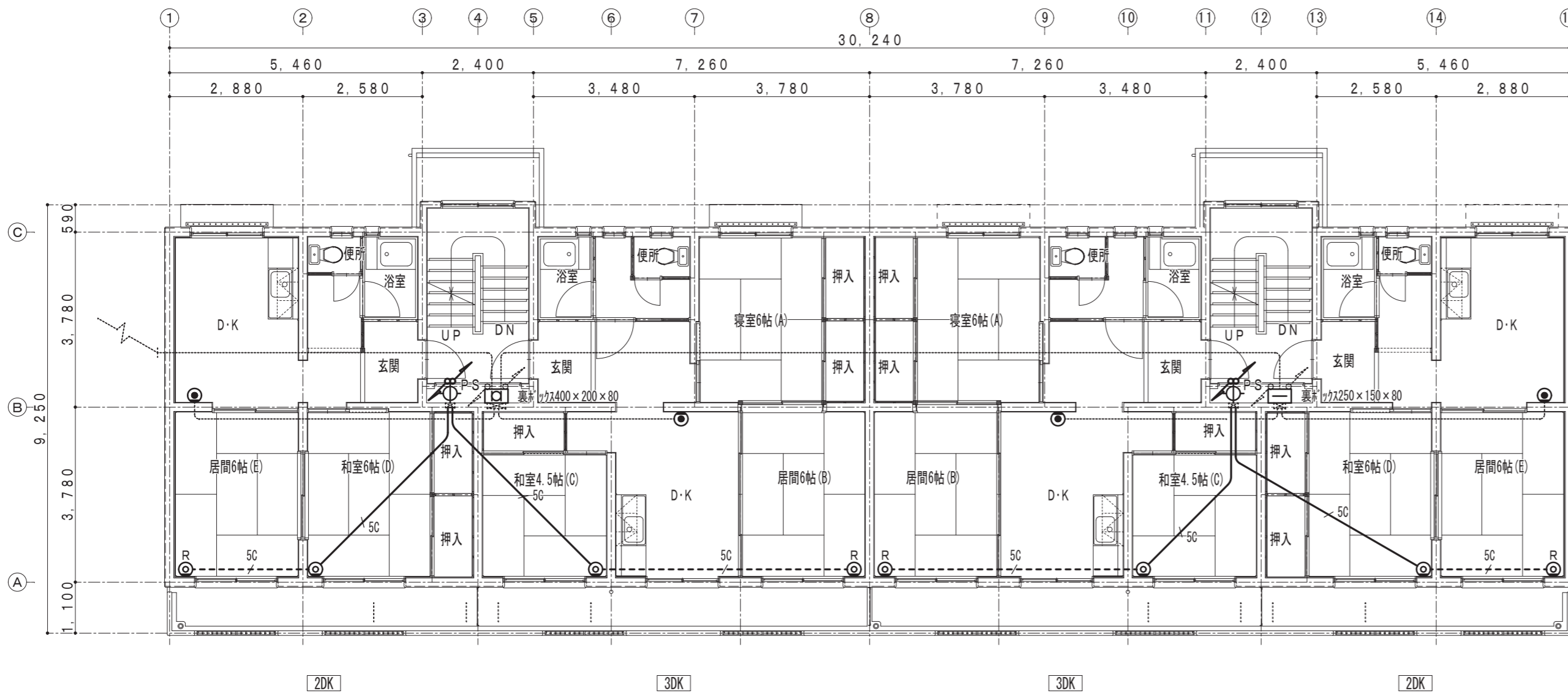
特記事項

- ・工事着工前に既設確認を行う事とする
- ・図中、細破線の配線・器具は既設のままとし、太線部分が改修工事範囲を示す
- ・図中に明記が無い場合でも撤去工事に支障が生ずる箇所は、監督員と撤去処分・取外し再取付の協議後に施工を行うこととする
- ・躯体埋設部の配管・配線は埋設配管内の配線のみ撤去とし、配管部分は残置とする
- ・別途建築工事のPS内断熱改修工事に伴い、本工事にて端子板 (TEL-TV) 等の取外し (再取付あり) を行う。
- ・図中、特記なき配線は下記とする

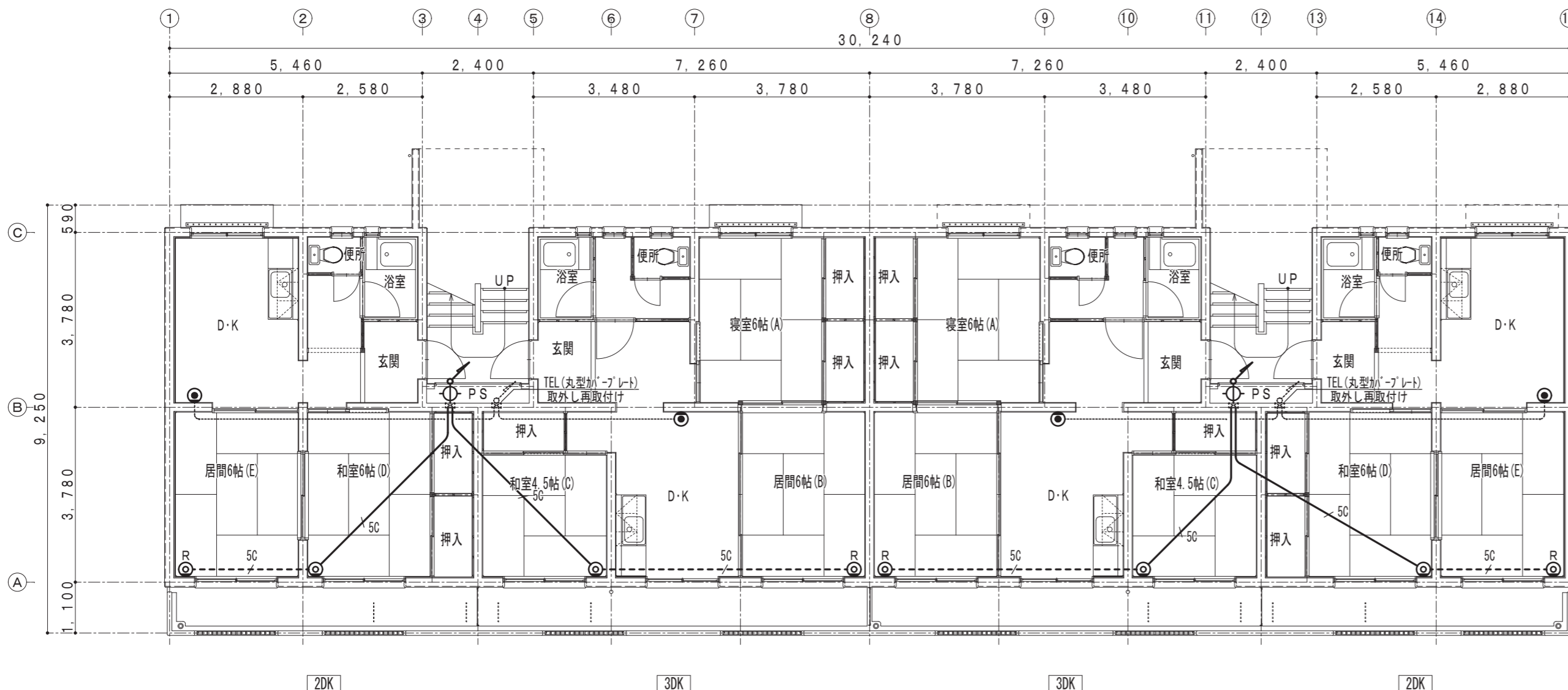
5C	5C-FB	配管内抜線	天井・壁隠べい (C19)
5C	5C-FB	配管内抜線	床隠べい (C19)
---	---	残置	天井・壁隠べい

凡例

記号	名称	仕様	仕 様
□	集合保安器取付板	500×800	※取外し
▭	端子板取付板	300×400	※取外し
⊕	分岐器 (双方向用)	2分岐	露出型 ※撤去処分
⊙	直列ユニット (中間)	UV-SU-7-7	埋込型 ※撤去処分
⊙ _R	直列ユニット (端末)	UV-SU-7-R	埋込型 ※撤去処分
⊙	電話用アウトレット		※撤去処分
□	アウトレットボックス	大四角 深型	※既設のまま



2階 平面図 S=1/100



1階 平面図 S=1/100

鳥取県
令和7年度
J2501267
東部建築住宅
事務所

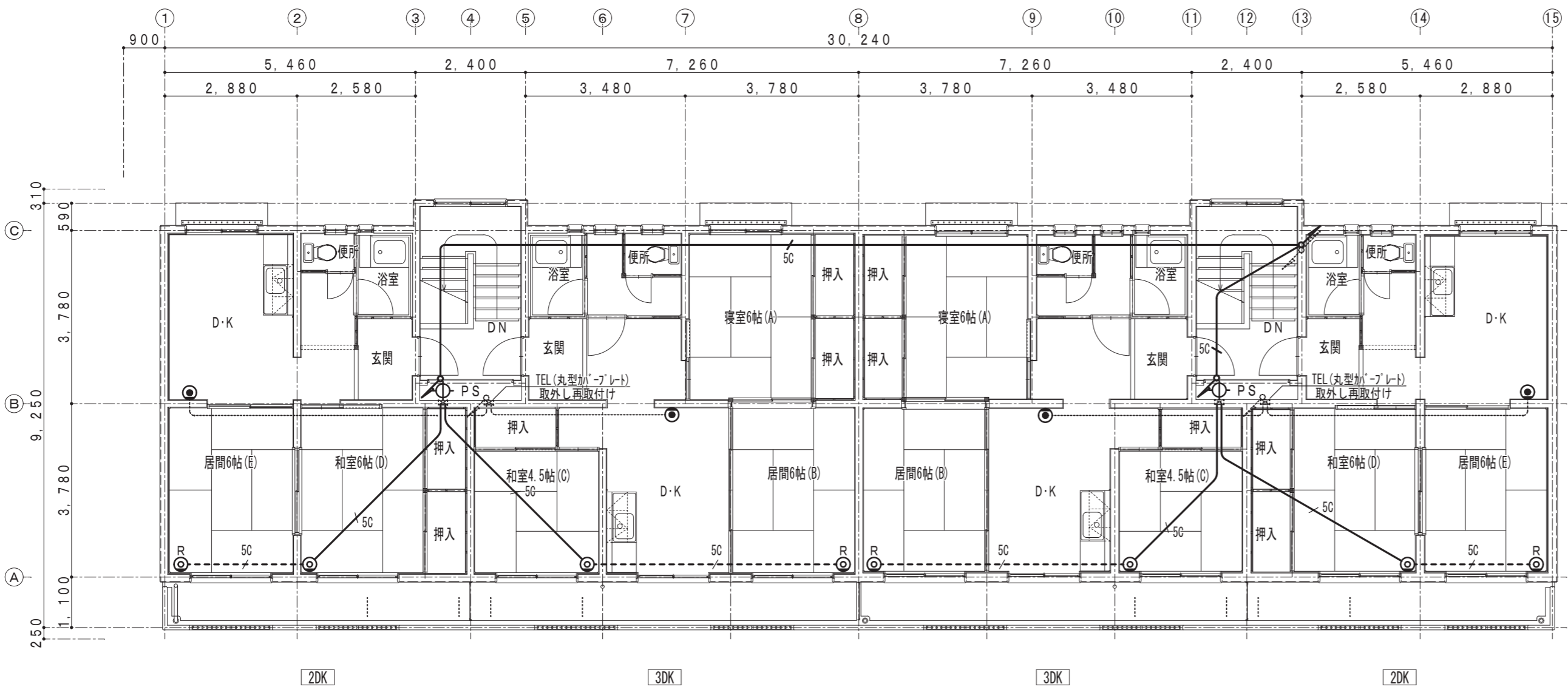
撤去図

特記事項

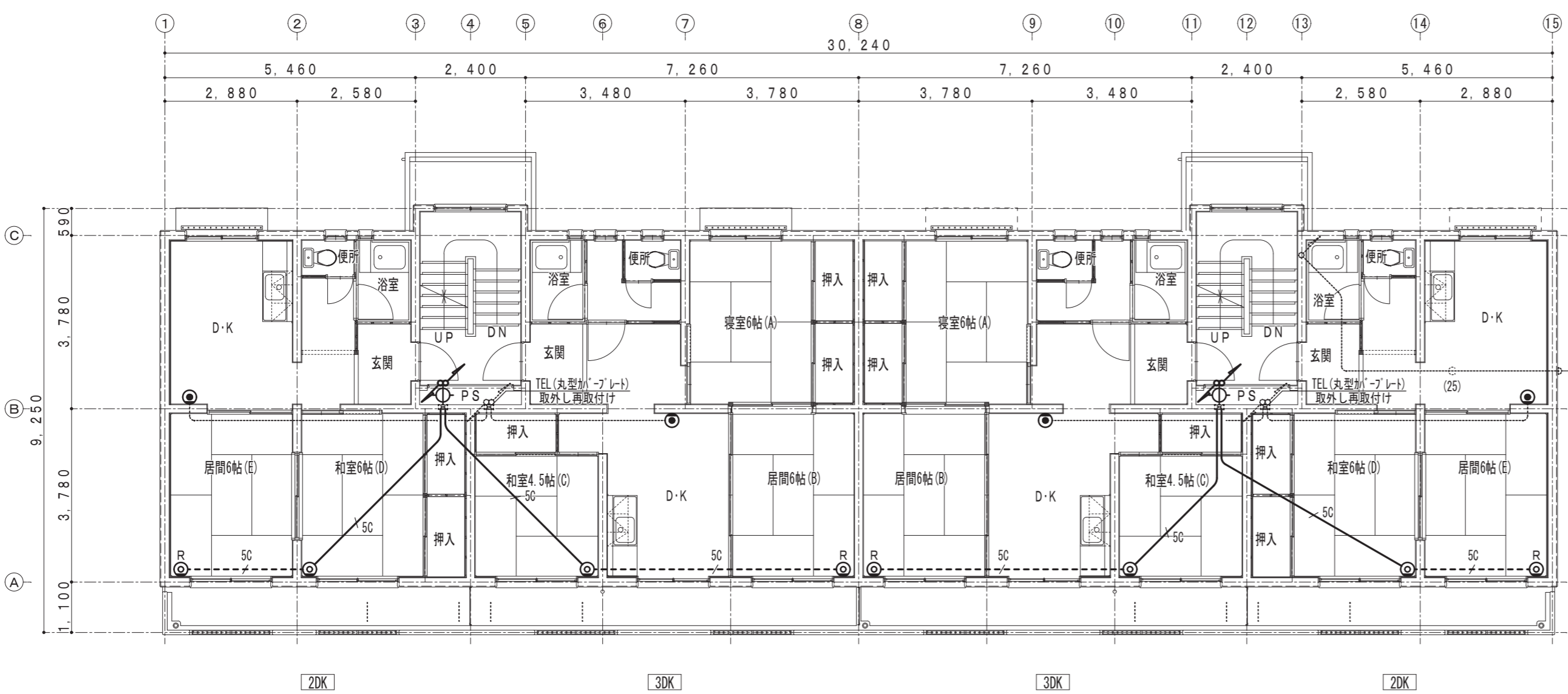
- ・工事着工前に既設確認を行う事とする
 - ・図中、細破線の配線・器具は既設のままとし、太線部分が改修工事範囲を示す
 - ・図中に明記が無い場合でも撤去工事に支障が生ずる箇所は、監督員と撤去処分・取外し再取付の協議後に施工を行うこととする
 - ・躯体埋設部の配管・配線は埋設配管内の配線のみ撤去とし、配管部分は残置とする
 - ・別途建築工事のPS内断熱改修工事に伴い、本工事にて端子板(TEL-TV)等の取外し(再取付あり)を行う。
 - ・図中、特記なき配線は下記とする
- | | | | |
|----|-------|-------|--------------|
| 5C | 5C-FB | 配管内抜線 | 天井・壁隠べい(C19) |
| 5C | 5C-FB | 配管内抜線 | 床隠べい(C19) |
| | | 残置 | 天井・壁隠べい |

凡例

記号	名称	仕様
⊕	分岐器(双方向用)	2分岐 露出型 ※撤去処分
⊙	直列ユニット(中間)	UV-SU-7-7 埋込型 ※撤去処分
⊙ _R	直列ユニット(端末)	UV-SU-7-R 埋込型 ※撤去処分
⊙	電話用アウトレット	※撤去処分
□	アウトレットボックス	大四角 深型 ※既設のまま



4階 平面図 S=1/100

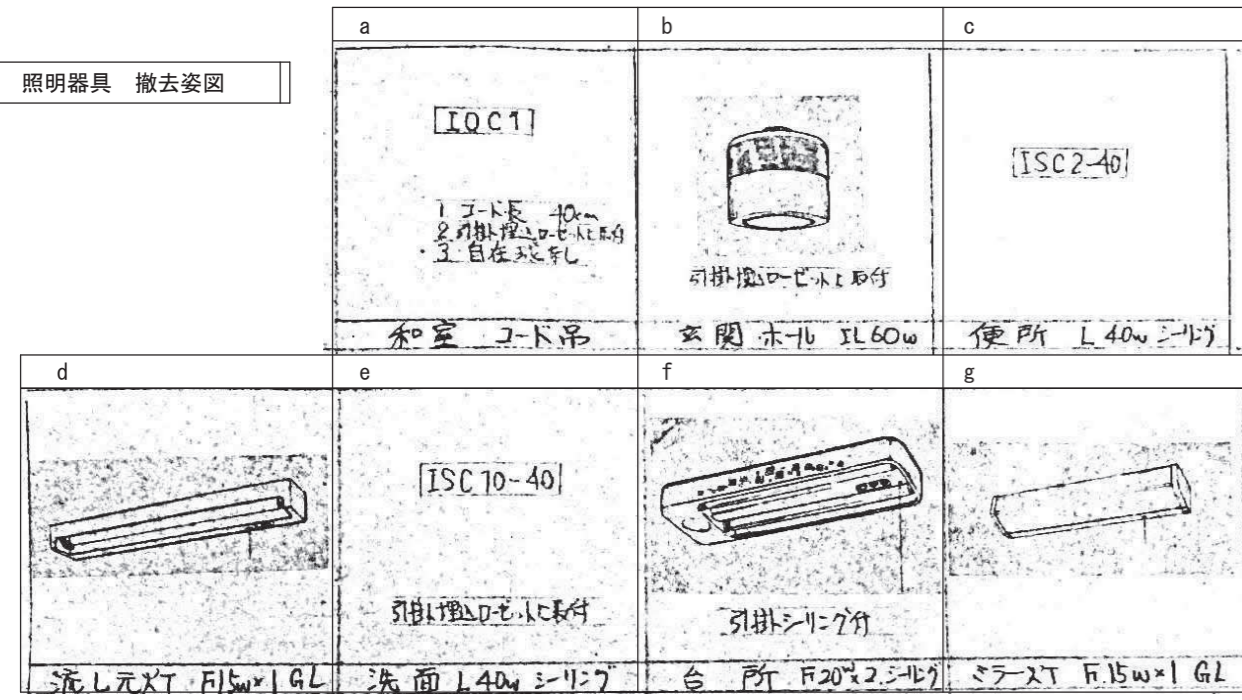


3階 平面図 S=1/100

インフラキャブ×1
残置



撤去図



2DK		
玄関ホール	b	1台
洗面	e	1台
	g	1台
便所	c	1台
	d	1台
DK	f	1台
	a	1台
和室6帖	a	1台
居間6帖	a	1台

3DK		
玄関ホール	b	1台
洗面	e	1台
	g	1台
便所	c	1台
	d	1台
DK	f	1台
	a	1台
寝室6帖	a	1台
居間6帖	a	1台
和室4.5帖	a	1台

特記事項

- ・工事着工前に既設確認を行う事とする
- ・図中、細破線の配線・器具は既設のままとし、太線部分が撤去工事範囲を示す
- ・図中に明記が無い場合でも撤去工事に支障が生ずる箇所は、監督員と撤去処分・取外し再取付の協議後に施工を行う事とする
- ・躯体埋設部の配管・配線は埋設配管内の配線のみ撤去とし、配管部分は残置とする
- ・東側住戸については本配線図の反転プランとする
- ・照明器具撤去時はPCB含有のないことを確認し、適切な廃棄処分を行うこと
- ・住戸内に設置してある住宅用火災警報器は取外し・再取付とする
- ・図中、特記なき配線は下記とする

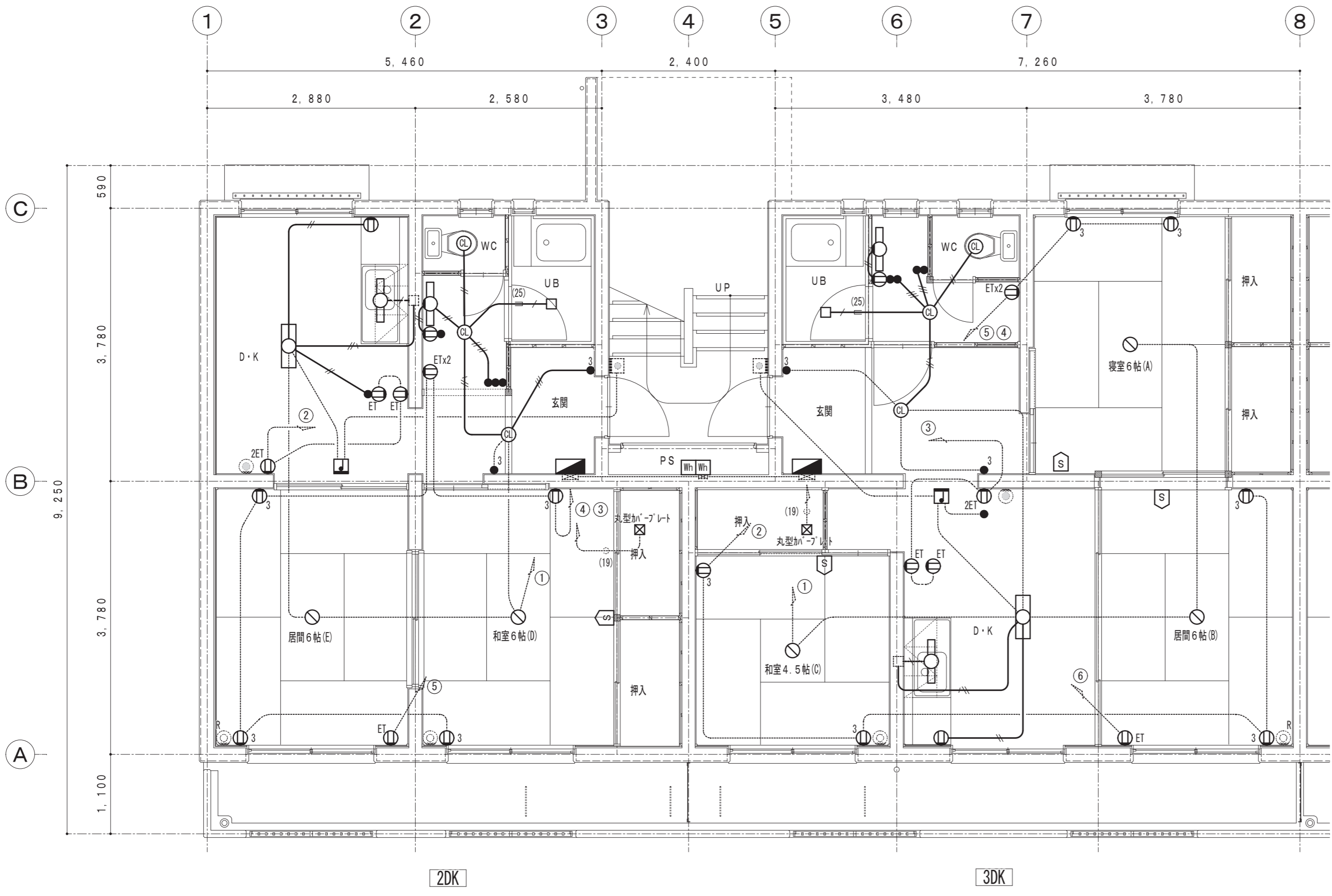
—	IV	2.0 x 2	配管内抜線	天井・壁隠ぺい (E19)
—	IV	2.0 x 3	配管内抜線	天井・壁隠ぺい (E19)
—	IV	2.0 x 3 . 1Cアース	配管内抜線	天井・壁隠ぺい (E19)
—	IV	2.0 x 4	配管内抜線	天井・壁隠ぺい (E25)
— (25)	VVF	2.0 - 3C, 1Cアース	配管内抜線	天井・壁隠ぺい (E25)
—	VVF	2.0 - 3C, 1Cアース	配管内抜線	天井・壁面露出
—	—	—	既設配管・配線	既設のまま

凡例

記号	名称	仕様	仕様
⊙	照明器具	1L 40・60W x 1	シーリング ※撤去処分
⊕	照明器具	FL 15W x 1	ブラケット ※撤去処分
⊕	照明器具	FL 15W x 1	ブラケット ※撤去処分
⊕	照明器具	FL 20W x 2	直付型 ※撤去処分
⊙	照明器具	引掛埋込ローゼット取付 自在球なし	コード吊 ※撤去処分
■	分電盤		露出型 ※撤去処分
●	スイッチ	1P 15A x 1	埋込型 ※撤去処分
●3	スイッチ	3W 15A x 1	埋込型 ※撤去処分
⊕	コンセント	2P 15A x 1	埋込型 ※撤去処分
⊕3	コンセント	2P 15A x 3	埋込型 ※撤去処分
⊕E	コンセント	2P 15AE x 1	埋込型 ※撤去処分
⊕ET	コンセント	2P 15A x 1 ET	埋込型 ※撤去処分
⊕2ET	コンセント	2P 15A x 2 ET	露出型 ※撤去処分
⊕ETx2	コンセント	2P 15A x 1 ET x 2	露出型 ※撤去処分
⊕2ETx2	コンセント	2P 15A x 2 ET x 2	露出型 ※撤去処分
⊕	チャイム		露出型 ※撤去処分
⊕	押ボタン		埋込型 ※既設のまま
S	住宅用火災警報器		※取外し再取付
□	ユニットバス端子台		※建築工事
Wh	電力量計 (電力会社)	取付BOX, 取付板は既存再利用とする	※取外し再取付

※撤去分電盤 住戸2DK (屋内樹脂製露出型)
 ・電灯回路 (撤去) ELB3P 30AF/30AT x 1
 MCB2P 30AF/20AT x 5

※撤去分電盤 住戸3DK (屋内樹脂製露出型)
 ・電灯回路 (撤去) ELB3P 30AF/30AT x 1
 MCB2P 30AF/20AT x 6

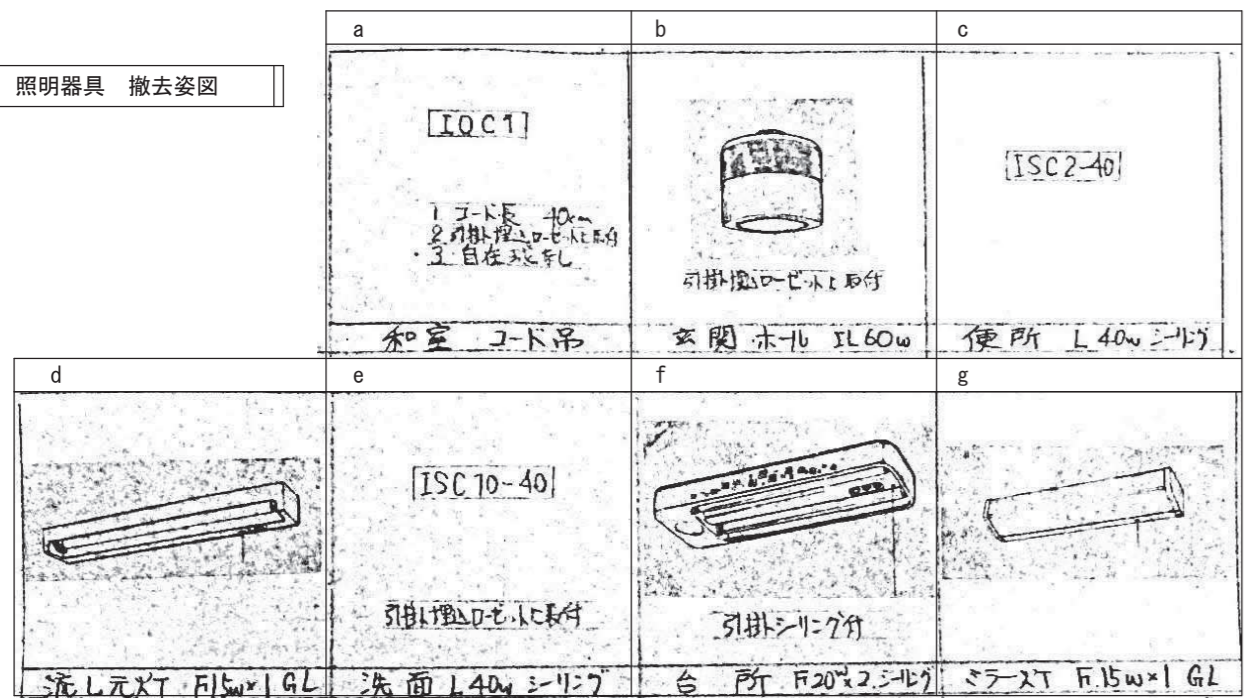


1~3階平面図 (住戸内) S=1/50 ~2DK, 3DK~



撤去図

照明器具 撤去姿図



2DK		3DK	
玄関ホト	b 1台	玄関ホト	b 1台
洗面	e 1台	洗面	e 1台
便所	c 1台	便所	c 1台
DK	d 1台	DK	d 1台
和室6帖	a 1台	寝室6帖	a 1台
居間6帖	a 1台	居間6帖	a 1台
		和室4.5帖	a 1台

特記事項

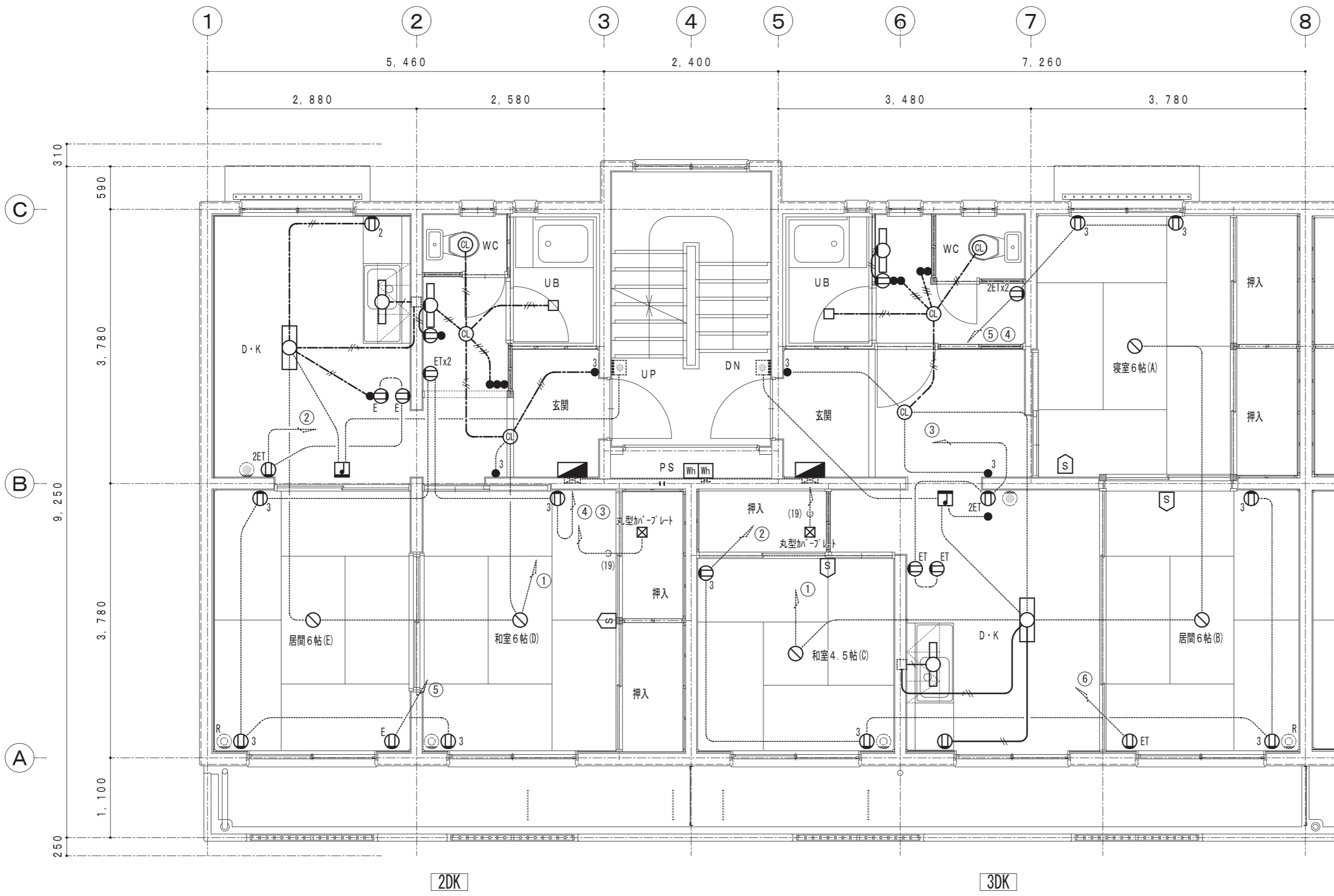
- ・工事着工前に既設確認を行う事とする
 - ・図中、細破線の配線・器具は既設のままとし、太線部分が撤去工事範囲を示す
 - ・図中に明記が無い場合でも撤去工事に支障が生ずる箇所は、監督員と撤去処分・取外し再取付の協議後に施工を行う事とする
 - ・躯体埋設部の配管・配線は埋設配管内の配線のみ撤去とし、配管部分は残置とする
 - ・東側住戸については本配線図の反転プランとする
 - ・照明器具撤去時はPCB含有のないことを確認し、適切な廃棄処分を行うこと
 - ・住戸内に設置してある住宅用火災警報器は取外し・再取付とする
 - ・図中、特記なき配線は下記とする
- | | | | | |
|------|---------|-----------------|-------|---------|
| ---- | VVF | 2.0 - 2C | 撤去 | 天井内 |
| ---- | VVF | 2.0 - 3C | 撤去 | 天井内 |
| ---- | VVF | 2.0 - 3C, 1Cアース | 撤去 | 天井内 |
| ---- | VVF | 2.0 - 2C x 2 | 撤去 | 天井内 |
| ---- | VVF | 2.0 - 3C, 1Cアース | 撤去 | 天井・壁面露出 |
| ---- | 既設配管・配線 | | 既設のまま | |

凡例

記号	名称	仕様	仕様
⊙	照明器具	IL 40・60W x 1	シーリング ※撤去処分
⊕	照明器具	FL 15W x 1	ブラケット ※撤去処分
⊖	照明器具	FL 15W x 1	ブラケット ※撤去処分
⊗	照明器具	FL 20W x 2	直付型 ※撤去処分
⊘	照明器具	引掛埋込ロゼット取付 自在球なし	コード吊 ※撤去処分
■	分電盤		露出型 ※撤去処分
●	スイッチ	1P 15A x 1	埋込型 ※撤去処分
●3	スイッチ	3W 15A x 1	埋込型 ※撤去処分
⊕	コンセント	2P 15A x 1	埋込型 ※撤去処分
⊕3	コンセント	2P 15A x 3	埋込型 ※撤去処分
⊕E	コンセント	2P 15AE x 1	埋込型 ※撤去処分
⊕ET	コンセント	2P 15A x 1 ET	埋込型 ※撤去処分
⊕2ET	コンセント	2P 15A x 2 ET	露出型 ※撤去処分
⊕ETx2	コンセント	2P 15A x 1 ET x 2	露出型 ※撤去処分
⊕2ETx2	コンセント	2P 15A x 2 ET x 2	露出型 ※撤去処分
⊓	チャイム		露出型 ※撤去処分
⊔	押ボタン		埋込型 ※既設のまま
⊕S	住宅用火災警報器		※取外し再取付け
□	ユニットバス端子台		※建築工事
Wh	電力量計(電力会社)	取付板は既存再利用とする	※取外し再取付け

※撤去分電盤 住戸2DK (屋内樹脂製露出型)
 ・電灯回路(撤去) ELB3P 30AF/30AT x 1
 MCB2P 30AF/20AT x 5

※撤去分電盤 住戸3DK (屋内樹脂製露出型)
 ・電灯回路(撤去) ELB3P 30AF/30AT x 1
 MCB2P 30AF/20AT x 6



4階 平面図 (住戸内) S=1/50 ~2DK, 3DK~

